

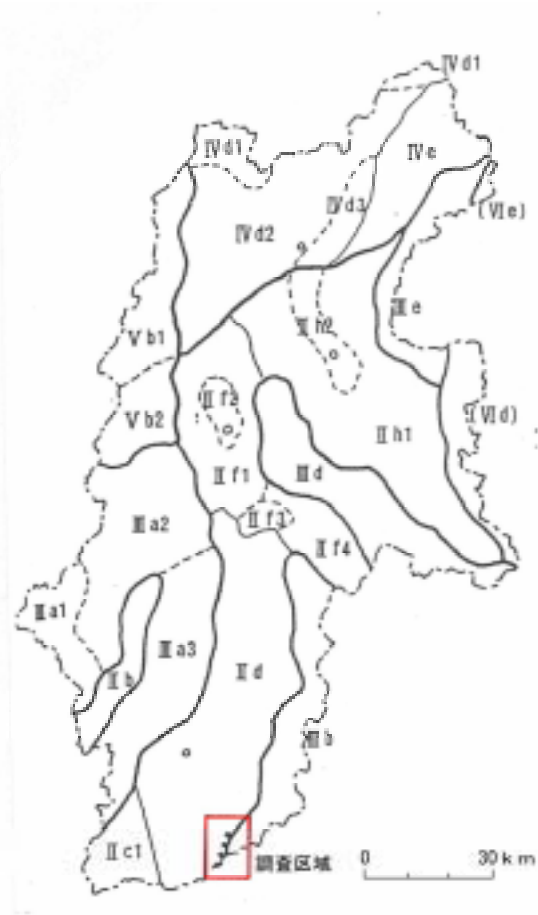
## 第2節 自然的状況

### 1. 気象の状況

#### (1) 気候の地域区分

長野県の気候は、図 2.2.1 に示すように大きくは中央日本山地性気候、中央日本山岳気候、中央日本多雪気候、中央日本の多雪山岳気候の4つに区分されます。

調査区域の気候による地域区分は、中央日本山地性気候または中央日本山岳気候です。また、伊那谷の山地性気候の特徴を示す地域は、四季を通じて南風が多く温暖で、赤石山脈の山岳気候の特徴を示す地域は、気温が低く雨が多い地域となっています。



II 中央日本山地性気候
II b : 木曾谷の気候
II c <sub>1</sub> : 三河高原の気候
II d : 伊那谷の気候
II f <sub>1</sub> : 塩尻・大町気候
II f <sub>2</sub> : 松本盆地の気候
II f <sub>3</sub> : 諏訪盆地の気候
II f <sub>4</sub> : 諏訪湖南地域の気候
II h <sub>1</sub> : 佐久盆地を中心とする山地性気候
II h <sub>2</sub> : 千曲川沿いの気候
III 中央日本山岳気候
III a <sub>1</sub> : 王滝川流域を主とする地域の気候
III a <sub>2</sub> : 梓川の南につづく山岳地域の気候
III a <sub>3</sub> : 木曾山脈の山岳の気候
III b : 赤石山脈の山岳の気候
III d : 八ヶ岳・霧ヶ峰を中心とする山岳気候
III e : 北信山岳の気候
IV 中央日本多雪気候
IV d <sub>1</sub> : 北陸の豪雪地帯につづく気候
IV d <sub>2</sub> : 裏日本式の気候 (下水内郡)
IV d <sub>3</sub> : 信濃川に沿う谷間の気候
IV d : 関東山地の気候
IV e : 裏日本式の気候
V 中央日本の多雪山岳気候
V b <sub>1</sub> : 飛騨山脈 (北アルプス) の深雪低音地域の気候
V b <sub>1</sub> : 北アルプスの多雪地帯の気候

図 2.2.1 気候による地域区分 (長野県)

出典：日本地誌第11巻長野県・山梨県・静岡県 (日本地誌研究所：昭和47年)

(2) 気温、風速、日照時間及び降水量等

調査対象地域内には、南信濃地域気象観測所（準平年値）があり、以下に気温、風速、日照時間及び降水量等について、表 2.2.1 に示します。また、観測所の位置を、図 2.2.2 に示します。

年平均気温は約12℃であり、夏に降水が多く、冬の積雪は多くない状況です。

表 2.2.1 気象の状況

〈南信濃地域気象観測所1979（最深積雪1978）～2000年までの準平年値〉

気象要素		月												年間
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
気温 (℃)	平均気温	0.9	1.5	5.6	11.3	16	19.8	23	24.2	20.4	14.2	8.2	2.7	12.3
	最高気温	6.6	7.8	12	18.1	22.4	25.2	28.4	30.1	25.9	20.1	14.4	8.9	18.4
	最低気温	-3.4	-3.3	0.3	5.4	10.5	15.6	19	20	16.6	10.1	3.7	-1.7	7.7
平均風速 (m/s)		0.9	0.9	1	1.2	1.3	1.3	1.1	1	1	0.9	0.8	0.8	0.8
日照時間 (合計時間)		139.1	145.3	159.9	170	150.8	108.7	125.7	183.9	139.2	150	138.9	146.7	1750.6
降水量 (mm)		60.6	68.8	145.4	146	171.2	248.5	212.7	195.8	267.8	143.3	99.4	49.7	1809.2
最深積雪 (cm)		5	11	3	0	—	—	—	—	—	—	—	3	14

注) : 南信濃地域気象観測所の準平年値、海拔410m

: —は、該当のないものです。

備考: 平年値とは、西暦年の1位が1の年から数えて、連続する30年について算出した累積平均値のことをいう。30年に満たない資料について算出した累積平均値は、その資料年数が24年以上の場合は「平年値」とする。資料年数が8年以上23年以下の場合は「準平年値」とよび、平年値に準じて取り扱う(地上気象観測統計指針より)。

出典: アメダス再統計値2001～2004年(CD-ROM) (平成17年: 気象庁)

## 2. 水象の状況

### (1) 河川及び湖沼

調査区域の河川の状況を、表 2.2.2、図 2.2.3 に示します。

調査区域の全ての河川は、天竜川に流入しています。湖沼はありません。

実施区域は、長野県側では一級河川天竜川水系の小嵐川を横断します。

表 2.2.2 主要な河川一覧表

種別	水系名	番号	河川名	延長(m)
1級河川	天竜川	1	八重河内川	3,210
		2	梶谷川	7,500
		3	遠山川	34,108
		4	小嵐川	4,900

出典：河川調書（平成11年：長野県）

### (2) 地下水等

長野県では、毎年任意に選んだ井戸について地下水の水質測定が行われ、また、既に汚染の判明している地点については継続的な地下水質の調査を実施しています。

調査区域には、継続調査が行われている井戸はありません。

### 3. 地象の状況

#### (1) 地形

調査区域の地形の状況を、図 2.2.4 に示します。

調査区域は、長野と静岡の県境を挟む山地地域に位置しています。西に伊那山脈、東に赤石山脈（南アルプス）が位置し、急峻な山地と狭小な谷とで構成される平坦地の極めて少ない地域です。地形分類では主に大起伏山地にあたり、最も標高の低い部分でも標高200mを超えています。また、南北に中央構造線が通っています。

実施区域には、大起伏山地や一部崩かい地形が分布しています。

参考：●山地

大起伏山地：日本アルプスと呼ばれる飛騨・木曾・赤石山地をはじめとする起伏量600m以上の山地です。

山麓地：山地の縁辺にあつて緩斜面をなす部分で傾斜は一般に8°～20°の範囲です。

●低地

中央構造線：断層の大規模なものを一般的に「構造線」と呼びます。中央構造線は、九州の八代から徳島、伊勢をへて諏訪の南を通り、群馬県下仁田、埼玉県寄居町付近でも確認された、連続した1,000km以上の大断層です。

出典：土地分類図（地形分類図 長野県）（昭和49年：国土庁）

## (2) 地質

調査区域の地質の状況を、図 2.2.5 に示します。

調査区域の地質は、小嵐川から静岡県側の翁川を結ぶ谷線を境に東西で性質が異なります。この谷線は、中央構造線の位置とほぼ一致しています。この中央構造線を境に、地質は外帯（中央構造線東側）と内帯（中央構造線西側）に区分されます。

内帯には堅硬な岩盤からなる花崗岩類、ホルンヘルスを主体とする領家帯が存在します。一方外帯はやや複雑な地質分布となっており、一般的には西から順に三波川帯、戸台構造帯、秩父帯、四万十帯の各地質が帯状に分布しています。

実施区域には、主に深成岩である花崗岩質岩石や変成岩であるホルンヘルス、団結堆積物である砂岩が分布しています。

### ●未固結堆積物

#### 礫・砂・泥（氾濫原堆積物）：

主要河川沿いに発達する氾らん原は、自然堤防地帯と低湿地帯（旧河道・後背湿地）に区分されますが、本図では一括して表現してあります。

### ●固結堆積物

#### 砂岩：

新第三系の砂岩を主とする岩相をあらわしました。砂岩は細粒～粗粒、板状～塊状で一般に堅固です。しばしば礫質砂岩～礫岩をはさむことがあります。なお、赤石山地の中・古生界には含まれる砂岩（硬砂岩）を表示してあります。

#### 泥岩（頁岩・粘板岩）：

新第三系の泥岩優勢の岩相をあらわしました。古第三系と中生界は頁岩ないし粘板岩、古生界は粘板岩ないし千枚岩となっていますが、これらを一括して表示してあります。

#### 珪岩質岩石：

赤石山地の古生層（石炭紀～二疊紀）は珪質岩を多量にともなっています。チャートなど主に古生層をつくっている堆積物です。

#### 石灰岩：

古・中生層にレンズ状に挟在する石灰岩です。赤石山地の古生層からなる小渋帯には、厚さ400～600mの厚い石灰岩が連続的にみられるのが特長です。南にうすくなって、しばしば珪質岩や粘板岩と互層します。

### ●深成岩

#### 斑岩：

石英斑岩ないし花崗斑岩状岩石です。岩脈・小岩株をなして産します。産状によって13の岩脈群に分類されていますが、これらは中生代後期の火山活動によるものと考えられます。貫入時期は漸新世以降である。

#### 花崗岩質岩石：

花崗岩、花崗閃緑岩、閃緑岩を一括しました。領家花崗岩類は濃飛流紋岩以後の新时期花崗岩（花崗閃緑岩～花崗岩）とそれ以前の古期花崗岩（石英閃緑岩～花崗閃緑岩）に大別されます。

蛇紋岩質岩石：

古生層を貫き、中生層とは断層で接することが多い。山中部溝帯では、蛇紋岩体にニッケル・クロームがともなわれることがあります。

●変成岩

ホルンヘルス：

古生層が花崗岩類に貫かれている付近では、熱変成作用のためホルンヘルス化しています。領家帯では、花崗岩にかこまれ、ホルンヘルスから、黒雲母片麻岩になっているものが多いです。

緑色片岩：

中央構造線の東側の三波川帯は多くの断層・褶曲により複雑な地質構造をなし、その中の変成岩の岩相もさまざまです。緑色片岩はこの三波川帯に特徴的に分布します。塊状の緑色岩をふくみ、原岩は古生代末の塩基性火成岩類です。

●圧砕岩

圧砕岩質岩石：

中央構造線の北側にそって細長く分布しています。石英閃緑岩質～花崗岩質岩石が、進入しながら、その前面で構造運動にともなう激しい圧砕作用をうけてできたと考えられているミロナイトです。見かけから、ポーフィロイド様岩と細粒珪質のヘレフリント様岩にわけられ、どちらも片状構造が著しいです。

出典：土地分類図（表層地質図 長野県）（昭和49年：国土庁）

調査区域にはニッケル鉱山跡地があるという情報を聞き取り調査において得ましたが、その正確な位置は旧南信濃村、県、国の資料に記録がありませんでした。九州帝国大学論文集の昭和13年の論文に当時の天龍ニッケル鉱山の鉱体位置の概念図が報告されています。

天龍ニッケル鉱山跡地の鉱体の位置を、図 2.2.6 に示します。

鉱体の位置は実施区域の対岸であり、実施区域は天龍ニッケル鉱山跡地を通過しません。

### (3) 注目すべき地形・地質

「第1回自然環境保全基礎調査（昭和51年：環境庁）」による優れた、または特異な地質を、表 2.2.3、図 2.2.7 に示します。

調査区域には中央構造線が南北に通っています。

なお、実施区域を含む調査区域には「文化財保護法」（昭和25年：法律第214号）による地形に係る天然記念物、及び「日本の地形レッドデータブック第1集」（平成6年：日本の地形レッドデータブック作成委員会）による保存すべき地形はありません。

表 2.2.3 主要な地形・地質

種類	番号	名称	出典
すぐれた自然 (地形・地質・自然現象)	1	中央構造線	ア

出典) : ア\_第1回自然環境保全基礎調査「すぐれた自然図長野県」(昭和51年:環境庁)

#### (4) 土壌

調査区域の土壌の状況を、図 2.2.8 に示します。

調査区域の土壌は、褐色森林土壌が広く分布しています。山地部は乾性ポドゾル化土壌や乾性褐色森林土壌が分布し、また河川沿いは主に湿性褐色森林土壌が分布しています。

なお、実施区域周辺には、褐色森林土壌や乾性ポドゾル化土壌、湿性褐色森林土壌、残積性未熟土壌、褐色低地土壌が広がっています。

参考：

- 未熟土

残積性未熟土壌：多少に関わらず浸食の影響が見られる（A）C断層面の土壌です。

- 褐色森林土

乾性褐色森林土壌：湿潤温帯の森林下に発達し、A（B）C層位を持っている土壌です。

褐色森林土壌：斜面下部や広い緩斜地など、常に地中に水分を富む環境下に現れる褐色森林土です。

湿性褐色森林土壌：斜面下部の緩斜面や谷底の平坦地、台地上の凹部など水分が集まりやすい環境下に現れる褐色森林土です。

- ポドゾル

乾性ポドゾル化土壌：湿潤寒冷気候の森林下に生成される土壌です。A・B・C層位を有し、厚い蓄積腐植、鉄、およびアルミニウムの溶脱されたA層と鉄や腐植の集積したB層をもちます。

- 赤黄色土

黄色土壌：丘陵地及び台地に分布し、多くは腐植含量が少なくB層の土色は明度、彩度ともに高く強い黄色です。

- 褐色低地土

褐色低地土壌：比較的発達していない（A）層下に黄褐色の中粒～細粒の（B）層を持つ土壌です。

- 灰色低地土

灰色低地土壌：作土下の土性が中粒質の土壌です。グライ土層は地表面下50cm以内には出現しません。ほとんどが水田として利用されています。

出典：土地分類図（土壌図長野県）（昭和49年国土庁）

#### (5) 災害履歴等

過去の地すべり、崩壊、洪水等の発生状況については、「平成16年 長野県の災害と気象」（平成17年：長野県危機管理危機管理・消防防災課）によると、平成16年は39件の災害報告がありました。

このうち調査対象地域（飯田市南信濃、下伊那郡天龍村）では、平成16年8月に天龍村で大雨により地すべりが発生し、林業関係に1件の災害報告がされています。



## 4. 動植物の状況

### (1) 植物の生育状況

調査対象地域の植物相、植生の状況を、表 2.2.4 (1)～(22)、図 2.2.9 に示します。

調査対象地域には、152科1,300種の植物の生育情報があり、このうち79科284種の注目すべき種が確認されています。

調査対象地域の植物相は、当地域には南方より入った暖地性の植物、例えば、ツバキ、カシなどが多く見られる地域です。逆に、伊那山脈、赤石山脈などには寒地性の植物であるシラカンバも分布しています。これらの植物は、高所より山を伝って下り、比較的低い山地にも見られます。例えば、熊伏山の海拔800mあたりにシラカンバの自生が見られたり、小嵐（海拔970m）付近でミヤマシキミなどの群落が見られたりします。平坦地が少ないため、狭い土地に低地の植物と高地の植物が混在しているのも特徴です。

調査対象地域の植生は、一部のカラマツ植林等を除き、山地斜面の大部分が広葉樹林およびスギ・ヒノキ・サワラ植林地で覆われており、広葉樹林は、クレーミズナラ群落やカスミザクラ・コナラ群落により構成されています。これらの林は、比較的標高が高く人間が近寄れない場所を除いて、何らかの形で過去に人の手が入った二次林であると考えられます。八重河内川沿いや遠山川沿いには、常緑広葉樹であるアラカシ群落が所々に分布しており、アラカシ群落の分布も調査対象地域の植生を特徴づけています。

表 2.2.4 ( 1 ) 調査対象地域における植物

科	種名	文献調査					注目根拠					備考
		N1	N2	N3	N4	N5	国 法令	国 RED	長野 法令	長野 RED	その他	
ヒカゲノカズラ	ミヤマヒカゲノカズラ				○							
	タカネスギカズラ					○						
	アスヒカズラ	○								情報	希少	
	スギラン	○						I B			希少	
	タカネヒカゲノカズラ	○				○						
	コスギラン	○				○				情報		
イワヒバ	エゾヒメクラマゴケ	○				○						
	カタヒバ		○									
	タチクラマゴケ			○								
	イワヒバ	○	○			○						
トクサ	スギナ		○	○								
	トクサ					○						
	イヌドクサ			○		○						
ハナヤスリ	オオハナワラビ				○							
	ヒメハナワラビ				○	○		II類		準絶滅	希少	
	ヤマハナワラビ	○										
	フユノハナワラビ	○				○						
	アズサハナワラビ	○										注1
	ナツノハナワラビ	○										
ゼンマイ	ヤマドリゼンマイ			○		○						
	ゼンマイ	○				○						
	ヤシャゼンマイ			○								
ウラジロ	コシダ			○								
	ウラジロ		○	○								
フサシダ	カニクサ	○				○						
コケシノブ	アオホラゴケ	○										
	ウチワゴケ			○								
	コウヤコケシノブ	○		○								
	ハイホラゴケ	○		○	○							
	チチブホラゴケ	○									希少	
	キヨスミコケシノブ				○							
コバノイシカグマ	オオレンシダ			○								
	ワラビ			○		○						
ホングウシダ	ホラシノブ			○	○							
シノブ	シノブ	○				○						
ミズワラビ	ハコネシダ	○	○	○		○						
	クジャクシダ		○	○								
	イヌイワガネソウ	○								希雑		
	ヤツガタケシノブ					○				I B	希少	
	タチシノブ	○	○									
シシラン	シシラン	○			○							
イノモトソウ	オオバノイノモトソウ	○	○									
	オオバノハチジョウシダ				○							
	イノモトソウ		○	○		○						
	マツザカシダ				○							
チャセンシダ	トラノオシダ			○								
	ヌリトラノオ			○	○							
	トキワトラノオ				○							
	オクタマシダ				○	○				I B		
	クモノスシダ	○				○						
	コバノヒノキシダ		○	○		○						
	チャセンシダ	○										
	イヌチャセンシダ				○							
イワトラノオ	○	○			○							
オシダ	オオカナワラビ			○	○							
	ナンタイシダ	○				○						
	シノブカグマ					○						
	ハカタシダ		○									
	オニカナワラビ	○		○								
	キヨスミヒメワラビ				○	○				II類		

表 2.2.4 ( 2 ) 調査対象地域における植物

科	種名	文献調査					注目根拠					備考
		N1	N2	N3	N4	N5	国 法令	国 RED	長野 法令	長野 RED	その他	
オシダ	ヤブソテツ		○	○		○						
	ヤマヤブソテツ	○										
	ヒロハヤブソテツ					○					希少	
	シラネワラビ			○		○						
	ミサキカグマ					○						
	カラフトメンマ					○					希少	
	オシダ			○		○						
	ベニシダ		○	○								
	トウゴクシダ	○										
	サクライカグマ					○						
	オオベニシダ	○										
	キノクニベニシダ					○						
	エンシュウベニシダ					○						注1
	ミヤマクマワラビ			○		○						
	タニヘゴ			○								希少
	オクマワラビ			○								
	イワイタチシダ	○										
	ヤマイタチシダ		○									
	チャボイノデ					○	○					
	イナデンダ	○							準絶滅			希少
	カタイノデ					○						
	ツヤナシイノデ						○					
	イノデ		○	○								
	サカゲイノデ	○										
	オニイノデ					○						希少
	ヒメカナワラビ					○	○				I B	
	オオキヨズミシダ					○						
	ヒメシダ	ホシダ			○		○					
		ゲジゲジシダ			○							
		ミゾシダ	○									
ヨコグラヒメワラビ				○								
ヤワラシダ		○										
ヒメシダ				○								
メシダ	ヒメワラビ	○	○									
	ミヤマメシダ					○						
	ヌリワラビ	○										
	イヌワラビ			○		○						
	タカネサトメシダ					○						
	ミヤマヘビノネゴザ	○				○						
	タカネヘビノネゴザ	○										
	ヘビノネゴザ			○		○						
	イッポンワラビ	○										
	ホソバシケシダ					○						
	オオヒメワラビ	○										
	オオメシダ	○										
	ウスバミヤマノコギリシダ					○					希少	
	キヨタキシダ						○					
	ヘラシダ					○						
	ノコギリシダ			○						情報		
	ウサギシダ	○										
	エビラシダ	○					○					
	イワウサギシダ	○									希少	
	クサソテツ		○	○		○						
	コウヤワラビ			○								
	トガクシデンダ					○						
	フクロシダ		○			○						
イワデンダ			○		○							
ウラボシ	ミツデウラボシ					○						
	クラガリシダ				○	○		I B		Ⅱ類	希少	
	マメツタ		○	○		○						

表 2.2.4 ( 3 ) 調査対象地域における植物

科	種名	文献調査					注目根拠					備考	
		N1	N2	N3	N4	N5	国 法令	国 RED	長野 法令	長野 RED	その他		
ウラボシ	ホテイシダ	○											
	ウロコノキシノブ		○	○	○	○		I A	特別	I A			
	ヒメノキシノブ		○			○							
	ノキシノブ			○		○							
	ナガオノキシノブ					○							
	ミヤマノキシノブ					○							
	サジラン	○	○	○		○							
	イワヤナギシダ			○									
	クリハラン			○	○					I A			
	オシャグジデンド		○			○							
	アオネカズラ			○	○					I A	希少		
	ビロードシダ	○				○							
	ヒトツバ		○	○									
イワオモダカ	○			○	○					II類			
ヒメウラボシ	オオクボシダ	○			○	○				準絶滅			
サンショウモ	サンショウモ				○			II類		II類	希少		
イチョウ	イチョウ					○							
マツ	モミ	○		○		○							
	ウラジロモミ			○		○							
	オオシラビソ					○							
	シラビソ					○							
	カラマツ					○							
	イラモミ				○						準絶滅		
	シラネマツハダ					○							
	トウヒ			○		○							
	アズサバラモミ					○				I A			
	ハリモミ					○							
	ヒメマツハダ					○				II類			
	アカマツ		○	○		○							
	チョウセンゴヨウ					○							
	ヒメコマツ			○		○							
	ゴヨウマツ					○							
	ハイマツ					○							
	クロマツ					○							
コメツガ			○		○								
ツガ		○	○		○								
スギ	スギ	○				○							
ヒノキ	ヒノキ	○				○							
	サワラ			○		○							
	ネズ			○									
	ホンドミヤマネズ					○							
	クロベ					○							
イヌガヤ	ハイイヌガヤ			○									
イチイ	イチイ					○							
	カヤ		○			○							
クルミ	オニグルミ		○			○							
	サワグルミ			○		○							
ヤナギ	サイコクキツネヤナギ			○									
	バッコヤナギ		○	○		○							
	オオネコヤナギ			○									
	カワヤナギ			○									
	ネコヤナギ		○	○									
	イヌコリヤナギ			○		○							
	シバヤナギ			○		○							
	レンゲイワヤナギ					○							
	コマイワヤナギ			○	○			II類		準絶滅	希少		
	オノエヤナギ		○	○									
	コゴメヤナギ			○		○							
タチヤナギ					○								
カバノキ	ヤシヤブシ		○	○									

表 2.2.4 (4) 調査対象地域における植物

科	種名	文献調査					注目根拠					備考
		N1	N2	N3	N4	N5	国 法令	国 RED	長野 法令	長野 RED	その他	
カバノキ	ヤマハンノキ			○								
	ミヤマハンノキ					○						
	カワラハンノキ				○					II類		
	ダケカンバ			○		○						
	ミズメ			○								
	シラカンバ		○	○		○						
	オノオレカンバ					○						
	サワシバ			○		○						
	アカシデ		○	○		○						
	イヌシデ					○						
	ツノハシバミ		○			○						
	アサダ		○			○						
ブナ	クリ		○	○		○						
	ツブラジイ			○								
	ブナ			○		○						
	イヌブナ			○		○						
	アカガシ			○	○	○				I A		
	アラカシ		○	○		○						
	ミズナラ			○		○						
	シラカシ			○		○						
	ウラジロガシ	○	○	○		○						
	コナラ			○		○						
	ツクバネガシ			○								
	アベマキ		○	○								
ニレ	ムクノキ			○	○					I B		
	エノキ		○	○								
	オヒョウ			○								
	ケヤキ		○	○		○						
クワ	ヒメコウゾ		○									
	コウゾ					○						
	イタビカズラ			○								
	カナムグラ		○									
	ヤマグラ		○									
	ホソバヤマグラ	○										注1
イラクサ	メヤブマオ	○										
	コアカソ			○								
	コバノコアカソ			○								注1
	アカソ		○									
	ヒメウワバミソウ				○					II類		
	ウワバミソウ			○								
	ムカゴイラクサ		○	○		○						
	カテンソウ	○										
	ミズ			○								
	アオミズ	○										
イラクサ	○											
ヤドリギ	マツグミ				○	○				準絶滅		
	ヤドリギ					○						
ツチトリモチ	ミヤマツチトリモチ				○	○		II類	準絶滅	希少		
タデ	オンタデ					○						
	ミズヒキ			○		○						
	シンミズヒキ			○								
	イブキトラノオ					○						
	ハルトトラノオ		○		○	○				準絶滅		
	ムカゴトラノオ					○						
	ソバカズラ	○										
	オオツルイタドリ	○				○						
	コウヤイタドリ					○						注1
	ヤノネグサ			○								
	アキノウナギツカミ			○								
ミチヤナギ			○									

表 2.2.4 ( 5 ) 調査対象地域における植物

科	種名	文献調査					注目根拠					備考	
		N1	N2	N3	N4	N5	国 法令	国 RED	長野 法令	長野 RED	その他		
タデ	イタドリ			○									
	フジイタドリ					○							
	スイバ		○	○									
	タカネスイバ					○							
	ノダイオウ				○			Ⅱ類		準絶滅			
ヤマゴボウ	ヨウシュヤマゴボウ		○										
	マルミノヤマゴボウ	○			○	○			Ⅱ類				
ザクロソウ	ザクロソウ		○			○							
	クルマバザクロソウ		○										
スベリヒユ	スベリヒユ		○	○		○							
ナデシコ	ノミノツヅリ			○									
	ミミナグサ			○									
	タガソデソウ				○			Ⅱ類		準絶滅			
	ミヤマミミナグサ					○							
	シナノナデシコ	○		○		○							
	エゾカワラナデシコ	○											
	カワラナデシコ		○										
	タカネナデシコ					○							
	フシグロセンノウ		○			○							
	タカネツメクサ					○							
	ミヤマツメクサ					○						希少	
	ホソバツメクサ					○							
	オオビランジ				○	○		Ⅱ類		Ⅱ類	希少		
	タカネビランジ				○	○				Ⅱ類			
	ビランジ				○					I B			
	シロバナビランジ	○											
	ノミノフスマ			○									
	ウシハコベ			○									
	コハコベ					○							
	ミドリハコベ			○									
	イワツメクサ					○							
	シコタンハコベ				○	○		Ⅱ類		準絶滅	希少		
	ミヤマハコベ		○			○							
	サボンソウ					○							
	アカザ	シロザ			○								
		アカザ			○								
		イワアカザ	○										
カワラアカザ				○									
ヒユ	ヒカゲイノコズチ		○										
	ヒナタイノコズチ	○											
	イヌビユ			○		○							
モクレン	ホオノキ					○							
	コブシ		○			○							
	タムシバ			○		○							
マツブサ	サネカズラ		○	○	○				Ⅱ類				
	マツブサ		○										
シキミ	シキミ	○	○	○		○							
クスノキ	カゴノキ			○						絶滅			
	ヤブニッケイ				○					I A			
	ヤマコウバシ					○							
	ダンコウバイ		○	○		○							
	クロモジ		○	○		○							
	イヌガシ			○									
	シロダモ			○						情報			
	アブラチャン		○	○		○							
	シロモジ			○							希少		
フサザクラ	フサザクラ			○									
カツラ	カツラ			○		○							
	ヒロハカツラ					○							
キンボウゲ	カワチブシ			○									
	キタダケトリカブト					○		I B					

表 2.2.4 ( 6 ) 調査対象地域における植物

科	種名	文献調査					注目根拠					備考
		N1	N2	N3	N4	N5	国 法令	国 RED	長野 法令	長野 RED	その他	
キンポウゲ	キタザワブシ					○		Ⅱ類		Ⅱ類		
	ホソバトリカブト					○						
	トリカブト					○						注1
	ルイヨウショウマ					○						
	ミチノクフクジュソウ				○			Ⅱ類		準絶滅		
	フクジュソウ				○			Ⅱ類		準絶滅	希少	
	ヒメイチゲ					○						
	ニリンソウ		○	○		○						
	ミスミソウ		○		○	○		準絶滅		I B	希少	
	ハクサンイチゲ					○						
	キクザキイチゲ		○								希少	
	サンリンソウ					○						
	レンゲショウマ	○	○	○		○						
	オオヤマオダマキ	○										
	ミヤマオダマキ					○						
	オオバショウマ					○						
	イヌショウマ	○										
	サラシナショウマ			○								
	ミヤマハンショウヅル	○				○						
	ボタンヅル		○			○						
	ハンショウヅル					○						
	クサボタン			○								
	トリガタハンショウヅル					○						
	ウスギオウレン			○								
	バイカオウレン			○		○						
	ミツバオウレン					○						
	ツルシロカネソウ	○			○					I A		
	トウゴクサバノオ				○					I B		
	ミヤマキンポウゲ					○						
	ウマノアシガタ		○			○						
	タガラシ			○								
	キツネノボタン					○						
	ヒメカラマツ				○	○				Ⅱ類	希少	
ミヤマカラマツ					○							
アキカラマツ			○									
モミジカラマツ					○							
シナノキンバイ					○							
メギ	メギ			○								
	オオバメギ				○				準絶滅			
	ルイヨウボタン	○										
	キバナイカリソウ		○	○		○						
ナンテン	○											
アケビ			○									
ツツラフジ			○									
スイレン				○					準絶滅	希少		
ドクダミ		○	○									
センリョウ	ヒトリシズカ					○						
	フタリシズカ		○			○						
ウマノスズクサ	ウマノスズクサ				○				Ⅱ類			
	フタバアオイ		○			○						
	ウスバサイシン					○					希少	
	ヒメカンアオイ		○	○	○				準絶滅			
ボタン	ヤマシャクヤク	○			○	○		Ⅱ類	指定	Ⅱ類	希少	
	ベニバナヤマシャクヤク				○			I B	指定	I A	希少	
マタタビ	マタタビ		○	○								
ツバキ	ヤブツバキ		○	○		○						
	サカキ	○	○	○								
	ヒサカキ	○	○	○								
	ヒメジャラ				○	○				I A		
	ナツツバキ	○		○		○						

表 2.2.4 ( 7 ) 調査対象地域における植物

科	種名	文献調査					注目根拠					備考
		N1	N2	N3	N4	N5	国 法令	国 RED	長野 法令	長野 RED	その他	
ツバキ	チャノキ		○									
	アカテンオトギリ					○				準絶滅		
	シナノオトギリ					○						
モウセンゴケ	コケオトギリ			○								
	モウセンゴケ			○								
ケシ	クサノオウ			○								
	ムラサキケマン		○									
	ヤマエンゴサク	○	○			○						
	ヒメエンゴサク		○									
	フウロケマン	○				○						
	ナガミノツルキケマン				○			準絶滅		準絶滅		
	タケニグサ		○	○		○						
	オサバグサ					○						
	アブラナ	エゾハタザオ	○				○					希少
イワハタザオ						○						
ウメハタザオ						○						
ヤマガラシ						○						
ハルザキヤマガラシ			○									
ケナシクモマナズナ		○										注1
ナズナ			○	○		○						
ミツバコンロンソウ						○				I A		
ヒロハコンロンソウ			○			○						注1
ケジャニンジン		○										注1
タネツケバナ			○	○		○						
ミヤマタネツケバナ						○						
ヤマタネツケバナ				○								
マルバコンロンソウ			○									
イヌナズナ			○	○		○						
クモマナズナ					○	○		II 類		準絶滅	希少	
ワサビ			○			○						
ユリワサビ				○								
ミチバタガラシ						○				情報		
スカシタゴボウ					○							
マンサク	キリシマミズキ				○			II 類		II 類		
	コウヤミズキ			○		○					希少	
	マンサク					○						
ベンケイソウ	ベンケイソウ	○										
	アオベンケイ					○				I B		
	ツメレンゲ	○			○	○		準絶滅		準絶滅	希少	
	イワベンケイ					○						
	キリンソウ		○			○						
	ミヤママンネングサ					○						
	マルバマンネングサ					○				I A		
ヒメレンゲ		○	○									
ユキノシタ	チダケサシ		○	○								
	アラシグサ					○						
	クサアジサイ			○								
	キバナハナネコノメ			○	○			準絶滅		I A	希少	
	ハナネコノメ				○					I A		
	イワネコノメソウ		○									
	ネコノメソウ		○									
	ヤマネコノメソウ		○									
	チシマネコノメ	○									希少	
	ニッコウネコノメソウ		○			○						注1
	コガネネコノメソウ		○									
	タチネコノメソウ			○	○	○				II 類		
	ギンバイソウ		○	○		○						
	ウツギ			○		○						
	ヒメウツギ		○	○								
ウラジロウツギ	○											



表 2.2.4 ( 8 ) 調査対象地域における植物

科	種名	文献調査					注目根拠					備考	
		N1	N2	N3	N4	N5	国 法令	国 RED	長野 法令	長野 RED	その他		
ユキノシタ	コアジサイ			○		○							
	タマアジサイ		○	○									
	ヤマアジサイ					○							
	ノリウツギ			○									
	ガクウツギ		○			○							
	ミカワチャルメルソウ		○	○		○						希少	
	コチャルメルソウ		○										
	エゾウメバチソウ					○							
	ウメバチソウ			○									
	ヤワタソウ	○											
	バイカウツギ		○	○		○							
	ヤシャビシヤク					○		Ⅱ類		Ⅱ類		希少	
	ヤグルマソウ		○	○									
	ムカゴユキノシタ					○				ⅠA		希少	
	シコタンソウ					○							
	カエデダイモンジソウ	○											注1
	ジンジソウ		○		○	○					準絶滅		
	ミヤマダイモンジソウ					○							
	ダイモンジソウ		○										
	ウチワダイモンジソウ	○		○		○							
クモマグサ				○					ⅠB				
ユキノシタ		○											
イワユキノシタ	○												
ズダヤクシュ					○								
バラ	チョウセンキンミズヒキ				○			Ⅱ類		準絶滅			
	ヤマブキショウマ					○							
	チョウノスケソウ					○							
	ヘビイチゴ		○										
	ヤブヘビイチゴ		○										
	ミヤマダイコンソウ					○							
	ダイコンソウ		○			○							
	チングルマ	○				○							
	ヤマブキ			○									
	エゾノコリンゴ		○										
	ズミ		○	○									
	キジムシロ		○	○		○							
	ミツバツチグリ		○										
	ハクロバイ					○		Ⅱ類		ⅠB			
	ミヤマキンバイ	○				○							
	ウラジロキンバイ	○				○		Ⅱ類		Ⅱ類		希少	
	ツルキジムシロ					○							
	エチゴキジムシロ			○									
	ツルキンバイ					○							
	ミヤマチョウジザクラ					○							注1
	ウワミズザクラ		○			○							
	キンキマメザクラ					○							
	ヤマザクラ		○										
	ウスゲヤマザクラ	○											
	ミヤマザクラ					○							
	ミネザクラ					○							
	ソメイヨシノ					○							
	エドヒガン		○			○							
	モモ	○											
	オオヤマザクラ					○							注1
	リンボク			○	○					ⅠB			
	カスミザクラ		○	○		○							
	ヤマナシ		○										
モリイバラ					○								
ノイバラ			○		○								
タガネバラ	○				○							注1	

表 2.2.4 ( 9 ) 調査対象地域における植物

科	種名	文献調査					注目根拠					備考
		N1	N2	N3	N4	N5	国 法令	国 RED	長野 法令	長野 RED	その他	
バラ	ニオイバラ	○										
	ミヤコバラ			○								
	クマイチゴ			○								
	ミヤマフユイチゴ			○								
	ニガイチゴ			○								
	サナギイチゴ	○				○						
	モミジイチゴ		○	○								
	ナワシロイチゴ			○								
	コガネイチゴ					○						
	ミヤマモミジイチゴ				○	○				準絶滅		
	コジキイチゴ	○			○	○				I B		
	ワレモコウ		○	○								
	タテヤマキンバイ				○	○				準絶滅		
	ナナカマド					○						
	ウラジロナナカマド					○						
	タカネナナカマド					○						
	ミヤマナナカマド					○						
	シモツケ		○			○						
	ユキヤナギ		○	○		○						
	マメ	ネムノキ		○	○		○					
イタチハギ						○						
ウスバヤブマメ		○										注1
ヤブマメ				○								
タイツリオウギ						○						
モメンヅル		○			○					準絶滅	希少	
フジキ		○										
ユクノキ		○										
タヌキマメ					○				指定	I A		
フジカンゾウ		○										
イワオウギ						○						
コマツナギ			○	○		○						
マルバヤハズソウ		○				○						
ヤハズソウ			○	○								
イタチササゲ		○										
ヤマハギ			○	○								
キハギ			○									
メドハギ				○								
マルバハギ				○								
ネコハギ			○									
イヌハギ					○	○		II類		準絶滅	希少	
イヌエンジュ		○										
オヤマノエンドウ						○						
クズ				○		○						
オオバタンキリマメ			○			○						
ハリエンジュ				○								
クララ		○										
ムラサキツメクサ			○			○						
ツルフジバカマ			○									
ミヤマタニワタシ		○			○	○				準絶滅		
クサフジ					○					希少		
スズメノエンドウ		○										
フジ		○	○									
カタバミ	コミヤマカタバミ					○						
	カタバミ			○								
	エゾタチカタバミ	○										
フウロソウ	オオヤマカタバミ				○	○		II類	準絶滅			
	アメリカフウロ					○						
	タカネグンナイフウロ					○						
	イヨフウロ	○			○					I A		
	ゲンノショウコ			○								

表 2.2.4 ( 1 0 ) 調査対象地域における植物

科	種名	文献調査					注目根拠					備考
		N1	N2	N3	N4	N5	国 法令	国 RED	長野 法令	長野 RED	その他	
フクロソウ	コフウロ	○			○					I B		
	ミツバフウロ	○										
	イブキフウロ					○						
	ハクサンフウロ					○						
トウダイグサ	エノキグサ		○									
	トウダイグサ					○						
	オオニシキソウ	○										
	ニシキソウ				○					II類		
	アカメガシワ	○	○	○								
	シラキ		○									
ユズリハ	ユズリハ		○	○	○	○				準絶滅		
	エゾユズリハ			○								
ミカン	マツカゼソウ	○				○						
	オオバノキハダ	○										
	ミヤマキハダ	○										
	ミヤマシキミ			○								
	ツルシキミ			○								
	カラスザンショウ	○	○	○								
	イヌザンショウ		○									
ヒメハギ	ヒナノキンチャク				○			I B		I A	希少	
ウルシ	ツタウルシ			○								
	ヌルデ		○	○		○						
	ヤマハゼ		○	○								
	ヤマウルシ		○	○		○						
カエデ	アサノハカエデ			○								
	ホソエカエデ			○								
	チドリノキ					○						
	カジカエデ	○										
	ヒトツバカエデ					○						
	カラコギカエデ	○										
	ハウチワカエデ			○		○						
	コミネカエデ			○		○						
	イタヤカエデ			○								
	エンコウカエデ					○						
	オニイタヤ					○						
	メグスリノキ	○	○			○						
	テツカエデ	○		○								
	イロハモミジ		○	○		○						
	オオモミジ		○			○						
	ハナノキ					○		II類		II類		
	ウリハダカエデ					○						
	オオイタヤメイゲツ			○		○						
	コハウチワカエデ			○		○						注1
	オガラバナ					○						
トチノキ	トチノキ		○			○						
アワブキ	アワブキ			○								
	ミヤマハハソ	○				○						
ツリフネソウ	キツリフネ		○	○								
	ツリフネソウ		○	○								
モチノキ	イヌツゲ			○								
	ハイイヌツゲ			○								
	アオハダ			○								
	ソヨゴ			○		○						
	ホソバツルツゲ					○						
ニシキギ	イワウメヅル	○				○					希少	
	ツルウメモドキ		○			○						
	ニシキギ		○									
	サワダツ			○								
	ツリバナ		○	○								
	クロツリバナ	○										

表 2.2.4 ( 1 1 ) 調査対象地域における植物

科	種名	文献調査					注目根拠					備考
		N1	N2	N3	N4	N5	国 法令	国 RED	長野 法令	長野 RED	その他	
ミツバウツギ	ミツバウツギ			○								
ツゲ	フッキソウ	○										希少
クロウメモドキ	ヨコグラノキ					○					I B	希少
	ミヤマクマヤナギ	○			○	○					準絶滅	
	クマヤナギ			○								
	ケケンボナシ		○									
	クロカンバ	○										
ブドウ	ノブドウ		○	○								
	ヤブガラシ			○								
	ツタ		○									
	ヤマブドウ					○						
シナノキ	カラスノゴマ	○										
	シナノキ			○								
グミ	ツルグミ			○								
	マメグミ			○								
	ニッコウナツグミ					○						注1
イイギリ	イイギリ		○	○								
スミレ	キバナノコマノツメ					○						
	アカシキバナノコマノツメ					○						
	ナガバノスミレサイシン			○		○						
	ウスバスミレ	○										
	ヒメミヤマスミレ					○				I B		
	トウカイスミレ					○						注1
	エイザンスミレ	○				○						
	ケイリュウタチツボスミレ					○						注1
	タチツボスミレ		○	○		○						
	アオイスミレ					○						
	コスミレ					○						
	スミレ					○						
	アカネスミレ		○			○						
	フモトスミレ					○						
	アケボノスミレ					○						
	シコクスミレ			○								
	ヒナスミレ					○						
	スミレサイシン			○								
	ツボスミレ		○									
	アギスミレ			○								
ノジスミレ					○							
キブシ	キブシ			○		○						
ミゾハコベ	ミゾハコベ					○						
シュウカイドウ	シュウカイドウ		○									
ウリ	ゴキツル			○								
	アマチャヅル	○										
	アレチウリ			○								
ミソハギ	ヒメミソハギ					○				情報		
	キカシグサ			○		○						
	ミズキカシグサ					○		I B		情報	希少	
	ミズマツバ					○		II類		II類	希少	
アカバナ	ミヤマタニタデ					○						
	ケミヤマタニタデ					○						注1
	ウシタキソウ	○										
	タニタデ					○						
	ケゴンアカバナ		○			○						
	ヒメアカバナ	○										
	トダイアカバナ					○		II類		II類		
	ミヤマアカバナ					○						
	アカバナ			○								
	シロウマアカバナ				○						準絶滅	
チョウジタデ			○		○							
メマツヨイグサ			○		○							

表 2.2.4 ( 1 2 ) 調査対象地域における植物

科	種名	文献調査					注目根拠					備考
		N1	N2	N3	N4	N5	国 法令	国 RED	長野 法令	長野 RED	その他	
アカバナ	オオマツヨイグサ			○		○						
アリノトウグサ	アリノトウグサ			○								
ウリノキ	ウリノキ			○								
ミズキ	アオキ			○								
	ヒメアオキ			○								
	ヤマボウシ	○	○									
	ゴゼンタチバナ					○						
	ミズキ		○	○		○						
	クマノミズキ					○						
ウコギ	ウラジロウコギ	○										
	ミヤマウコギ					○						
	ウド		○	○								
	タラノキ		○									
	ミヤマウド	○										
	キツタ			○								
	ハリギリ			○								
	トチバニンジン					○						
	セリ	アマニュウ	○									
イワニンジン						○			I A			
ハナビゼリ		○										
シラネセンキュウ		○										
シシウド			○	○								
ミヤマシシウド		○				○						
ホタルサイコ		○										
ハクサンサイコ		○				○						
セントウソウ		○										
ドクゼリ				○							希少	
ミヤマゼンコ		○				○						注1
ミヤマセンキュウ		○				○						
ホソバハナウド		○				○		I B		I B	希少	
オオバチドメ					○					I B		
セリ				○								
ハクサンボウフウ		○				○						
オオカサモチ						○						
イワセントウソウ		○				○						
イブキボウフウ		○										
タカネイブキボウフウ						○						
ムカゴニンジン			○									
ミヤマウイキョウ				○					I A			
ヤブジラミ			○									
イワウメ	イワウメ					○						
	ヒメイワカガミ					○						
	イワカガミ					○						
	コイワカガミ					○						
リョウブ	リョウブ		○	○								
イチヤクソウ	ギンリョウソウ		○			○						
	コバノイチヤクソウ					○						
	ベニバナイチヤクソウ			○								
	イチヤクソウ			○		○						
	ジンヨウイチヤクソウ					○						
ツツジ	コメバツガザクラ					○						
	ウラシマツツジ					○						
	イワヒゲ					○						
	サラサドウダン					○						
	ベニドウダン			○		○						
	ミネズオウ					○						
	ネジキ			○		○						
	ウスギヨウラク			○		○						
	コヨウラクツツジ					○						
	アオノツガザクラ					○						

表 2.2.4 ( 1 3 ) 調査対象地域における植物

科	種名	文献調査					注目根拠					備考
		N1	N2	N3	N4	N5	国 法令	国 RED	長野 法令	長野 RED	その他	
ツツジ	ツガザクラ					○						
	アセビ		○	○								
	キバナシヤクナゲ					○						
	ハクサンシヤクナゲ					○						
	キョウマルシヤクナゲ				○			I B		準絶滅	希少	
	ミツバツツジ		○	○		○						
	サツキ			○		○						
	レンゲツツジ			○								
	ヒカゲツツジ		○	○		○						
	モチツツジ		○	○		○						
	ダイセンミツバツツジ				○					準絶滅		
	ヤマツツジ		○	○		○						
	アカヤシオ				○	○				準絶滅		
	シロヤシオ	○			○	○				I B		
	コバノミツバツツジ		○	○								
	バイカツツジ					○						
	チョウジコメツツジ					○						
	トウゴクミツバツツジ			○		○						
	ミヤマホツツジ					○						
	アクシバ			○								
	クロウスゴ					○						
	オオバスノキ					○						
	スノキ			○								
クロマメノキ					○							
コケモモ					○							
ガンコウラン	ガンコウラン					○						
ヤブコウジ	マンリョウ			○								
	カラタチバナ				○				I A			
	ヤブコウジ			○								
サクラソウ	ミヤマタゴボウ	○										
	オカトラノオ		○			○						
	コナスビ			○								
	クリンソウ		○								希少	
	クモイコザクラ					○		II類		I A	希少	
	サクラソウ				○			II類	指定	II類	希少	
	シナノコザクラ				○	○		II類	指定	I B	希少	
ツマトリソウ					○							
カキノキ	カキノキ		○									
エゴノキ	エゴノキ			○		○						
	コハクウンボク			○		○						
ハイノキ	タンナサワフタギ			○								
モクセイ	ミヤマアオダモ					○						
	アオダモ			○								
	ヤマトアオダモ	○										
	マルバアオダモ			○								
	シオジ					○						
	ネズミモチ			○								
	イボタノキ	○				○						
ヒイラギ	○		○									
リンドウ	トウヤクリンドウ					○					希少	
	コヒナリンドウ				○	○		I B		I A	希少	
	オヤマリンドウ					○						
	リンドウ					○						
	フデリンドウ		○			○						
	オノエリンドウ				○			I B		準絶滅	希少	
	ホソバツルリンドウ	○			○			I B		準絶滅	希少	
	アケボノソウ			○								
	ミヤマアケボノソウ	○				○						
	テンゲノコヅチ				○	○		I B		準絶滅		
	ツルリンドウ					○						

表 2.2.4 ( 1 4 ) 調査対象地域における植物

科	種名	文献調査					注目根拠					備考	
		N1	N2	N3	N4	N5	国 法令	国 RED	長野 法令	長野 RED	その他		
キョウチクトウ ガガイモ	テイカカズラ			○		○							
	タチガシワ					○				I A			
	スズサイコ				○			II類		準絶滅	希少		
	コバノカモメヅル				○					I B			
	シロバナカモメヅル				○					II類			
	コイケマ					○							
	ガガイモ		○										
アカネ	エゾノヨツバムグラ					○							
	オオバノヨツバムグラ					○							
	ミヤマムグラ					○							
	ヤエムグラ			○									
	オククルマムグラ	○											
	クルマムグラ	○											
	フタバムグラ				○					I A			
ヒルガオ	ヘクソカズラ		○	○		○							
	アメリカネナシカズラ					○							
ムラサキ	マルバアサガオ					○							
	サワリソウ	○			○	○				準絶滅			
	オニルリソウ		○										
	オオルリソウ	○											
	ミヤマムラサキ					○							
	ヤマルリソウ		○			○							
	タチカメバソウ		○										
クマツヅラ	キュウリグサ					○							
	ムラサキシキブ		○	○									
	ヤブムラサキ			○									
	カリガネソウ				○					準絶滅	希少		
シソ	クサギ	○	○	○									
	カワミドリ	○											
	シロバナタチキランソウ		○										注1
	タチキランソウ		○	○	○	○		準絶滅		準絶滅	希少		
	クルマバナ		○			○							
	イヌトウバナ					○							
	ヤマトウバナ	○											
	フトボナギナタコウジュ				○					I B			
	カキドオシ			○		○							
	マネキグサ				○			II類		II類	希少		
	ホトケノザ			○		○							
	ヤマジオウ		○		○	○				I B			
	ヒメオドリコソウ		○			○							
	メハジキ	○											
	キセウタ	○			○	○		II類		準絶滅	希少		
	ヒメシロネ			○									
	ラショウモンカズラ					○					希少		
	ハッカ			○									
	ヤマジソ				○			II類		準絶滅	希少		
	イヌコウジュ	○											
	ウツボグサ			○		○							
	セキヤノアキチョウジ			○									
	アキチョウジ				○					II類			
	タカクマヒキオコシ				○	○				I B			
	イヌヤマハッカ			○	○					I B			
	ダンドタムラソウ				○					II類			注1
	コウシンヤマハッカ					○							
ミヤマタムラソウ					○							注1	
キバナアキギリ	○												
ヤマタツナミソウ	○				○								
ミヤマナミキ	○				○								
イヌゴマ		○											
ツルニガクサ		○											

表 2.2.4 ( 15 ) 調査対象地域における植物

科	種名	文献調査					注目根拠					備考	
		N1	N2	N3	N4	N5	国 法令	国 RED	長野 法令	長野 RED	その他		
シソ	イブキジャコウソウ					○							
ナス	アオホオズキ	○				○		Ⅱ類		I A	希少		
	ハシリドコロ		○			○							
	マルバノホロシ	○											
	イヌホオズキ	○											
	ハダカホオズキ					○				Ⅱ類			
フジウツギ	フサフジウツギ		○			○							
	フジウツギ		○			○							
ゴマノハグサ	サワトウガラシ					○				Ⅱ類			
	アブノメ			○						I A			
	ヒメコゴメグサ					○				I A			
	スズメノトウガラシ	○											
	ウリクサ				○	○				Ⅱ類			
	アゼトウガラシ	○											
	アゼナ					○							
	サギゴケ		○										
	トキワハゼ		○										
	シコクママコナ			○									
	ミヤマママコナ	○											
	シロバナミヤマママコナ	○											
	ツシマママコナ				○						準絶滅		
	ママコナ		○										
	スズメハコベ	○						I B		I A	希少		
	ミゾホオズキ		○										
	ミヤマシオガマ					○							
	ヨツバシオガマ					○							
	ハンカイシオガマ				○	○				I A			
	セリバシオガマ					○							
	トモエシオガマ					○							
	タカネシオガマ					○							
	エゾシオガマ					○							
	ヒメトラノオ	○											
	ミヤマクワガタ					○							
	ヒナノウスツボ					○							
	オオヒナノウスツボ		○										
	タチイヌノフグリ		○										
	クワガタソウ						○						
	シナノヒメクワガタ						○						
ムシクサ						○							
オオイヌノフグリ		○	○			○							
イヌノフグリ					○	○		Ⅱ類		Ⅱ類	希少		
ノウゼンカズラ	キリ		○										
キツネノマゴ	ハグロソウ				○					Ⅱ類			
イワタバコ	イワタバコ	○	○	○		○							
ハマウツボ	オオナンバンギセル				○					I B			
	オニク				○					準絶滅			
	ケヤマウツボ				○					I B		注1	
	ヤマウツボ					○				I B			
	キヨスミウツボ					○				I B	希少		
タヌキモ	イヌタヌキモ				○				準絶滅	希少			
オオバコ	オオバコ			○									
スイカズラ	ツクバネウツギ					○							
	ベニバナツクバネウツギ			○		○							
	オオツクバネウツギ		○			○							
	チシマヒョウタンボク					○		Ⅱ類		I A	希少		
	スイカズラ		○	○									
	コゴメヒョウタンボク				○			I B		準絶滅	希少		
	ニッコウヒョウタンボク					○				I B	希少		
	ヤマヒョウタンボク	○								希少			
	オオヒョウタンボク					○							



表 2.2.4 ( 1 6 ) 調査対象地域における植物

科	種名	文献調査					注目根拠					備考	
		N1	N2	N3	N4	N5	国 法令	国 RED	長野 法令	長野 RED	その他		
スイカズラ	ニワトコ			○									
	ガマズミ			○		○							
	コバノガマズミ			○									
	オトコヨウヅメ			○									
	ヤブデマリ		○										
	ミヤマシグレ			○									
	ミヤマガマズミ			○		○							
	ニシキウツギ			○		○							
	ヤブウツギ	○		○		○							
	キバナウツギ					○					I B		
オミナエシ	オミナエシ		○	○		○							
	キンレイカ					○							
	オトコエシ		○			○							
	ツルカノコソウ		○			○					I B		
マツムシソウ	タカネマツムシソウ					○							
キキョウ	ヒメシャジン					○							
	ソバナ			○									
	イワシャジン	○	○	○	○	○					I A	希少	
	ツリガネニンジン					○							
	チシマギキョウ					○							
	イワギキョウ					○							
	ホタルブクロ					○							
	ヤマホタルブクロ		○	○		○							
	ミゾカクシ					○							
	タニギキョウ					○							
	シデシャジン		○									希少	
	キキョウ			○	○			II 類		準絶滅		希少	
	キク	ノコギリソウ			○								
		オクモミジハグマ			○		○						
キッコウハグマ				○									
タカネヤハズハハコ						○							
ヤマハハコ				○		○							
ホソバノヤマハハコ		○											
カワラハハコ				○									
ヤハズハハコ						○							
トダイハハコ		○				○	○	II 類		準絶滅			
ウサギギク						○							
カワラヨモギ				○									
ハハコヨモギ						○		II 類		I B			
ミヤマオトコヨモギ						○							
ヨモギ				○		○							
タカネヨモギ						○							
チシマヨモギ						○							
ノコンギク				○		○							
アキハギク				○		○							
ゴマナ				○									
タカネコンギク						○	○				準絶滅		
オケラ				○									
アメリカセンダングサ						○							
ホソバノセンダングサ		○											
コセンダングサ						○							
タウコギ		○											
カニコウモリ						○							
ウスゲタマブキ				○									
コウモリソウ				○									
オクヤマコウモリ				○		○							
テバコモミジガサ			○	○		○					準絶滅		
ヤマタイミンガサ				○		○							
ヤブタバコ		○											
コヤブタバコ		○											

表 2.2.4 (17) 調査対象地域における植物

科	種名	文献調査					注目根拠					備考	
		N1	N2	N3	N4	N5	国 法令	国 RED	長野 法令	長野 RED	その他		
キク	バンジンガンクビソウ				○						I A		注1
	トキンソウ		○	○									
	フランスギク		○										
	ホソエノアザミ	○											
	ウラジロカガノアザミ				○						準絶滅		
	ヒダアザミ				○	○		II類			I B		
	ノアザミ			○		○							
	トネアザミ	○											
	フジアザミ					○							
	センジョウアザミ					○							
	スズカアザミ			○									
	ワタムキアザミ		○		○			II類			II類	希少	
	イズハハコ			○				II類			絶滅	希少	
	オオアレチノギク					○							
	ベニバナボロギク					○							
	リュウノウギク			○									
	ワカサハマギク			○				II類					
	イワインチン					○							
	タカサブロウ			○		○							
	ダンドボロギク					○							
	エゾムカシヨモギ					○							
	ヒメムカシヨモギ		○			○							
	ヒヨドリバナ			○									
	ヨツバヒヨドリ					○							
	サワヒヨドリ		○	○									
	ハキダメギク					○							
	ハハコグサ		○	○									
	アキノハハコグサ				○			I B			準絶滅	希少	
	チチコグサモドキ		○										
	イヌキクイモ		○										
	キクイモ					○							
	キツネアザミ		○			○							
	ミヤマコウゾリナ					○							
	オオヂシバリ		○										
	ニガナ		○										
	タカネニガナ					○							
	ノニガナ	○										希少	
	イワニガナ					○							
	ミヤマイワニガナ					○							
	カワラニガナ	○		○		○		II類			II類	希少	
	ユウガギク		○	○									
	ムラサキニガナ				○						II類		
	コオニタビラコ			○		○							
	ヤブタビラコ			○		○							
	ウスユキソウ					○							
	ミネウスユキソウ					○							
	マルバダケブキ					○							
カイタカラコウ					○								
ミヤマヨメナ				○						II類			
ナガバノコウヤボウキ					○								
クルマバハグマ			○										
カシワバハグマ	○												
コウヤボウキ		○			○								
フキ		○			○								
カンチコウゾリナ					○								
コウゾリナ			○										
オオニガナ				○			II類			準絶滅			
シュウブソウ				○						準絶滅			
オオハンゴンソウ		○											
ミヤコアザミ			○										

表 2.2.4 ( 18 ) 調査対象地域における植物

科	種名	文献調査					注目根拠					備考
		N1	N2	N3	N4	N5	国 法令	国 RED	長野 法令	長野 RED	その他	
キク	ヒメヒゴタイ				○			II類		II類	希少	
	ミヤマヒゴタイ					○						
	タカネヒゴタイ					○						
	キクアザミ	○										
	ハンゴンソウ			○								
	コウリンカ				○			II類		準絶滅	希少	
	オカオグルマ			○								
	キオン					○						
	サワギク					○						
	タカネコウリンカ				○	○		準絶滅		準絶滅	希少	
	ノボロギク		○	○								
	タムラソウ			○								
	セイタカアワダチソウ					○						
	オオアワダチソウ		○									
	アキノキリンソウ			○		○						
	ミヤマアキノキリンソウ					○						
	オニノゲシ					○						
	ヒメジョオン		○	○		○						
	ヤブレガサ					○						
	シロバナタンポポ		○									
	ミヤマタンポポ					○						
	アカミタンポポ					○						
	シナノタンポポ			○		○						注1
	セイヨウタンポポ		○	○		○						
	カントウタンポポ					○				I B		
	ヤツガタケタンポポ					○						
	イガオナモミ			○								
	ヤクシソウ		○									
	オニタビラコ		○	○								
	オモダカ	ヘラオモダカ			○							
サジオモダカ				○					I A			
アギナシ				○			準絶滅		I B	希少		
ウリカワ				○		○			II類			
オモダカ			○		○							
トチカガミ	ヤナギスブタ				○				準絶滅			
ヒルムシロ	ヒルムシロ	○										
	ホソバミズヒキモ				○				準絶滅			
ユリ	ネバリノギラン					○						
	ノギラン			○								
	ノビル			○								
	ヒメニラ					○					希少	
	アサツキ			○								
	ギョウジャニンニク					○						
	シライトソウ				○	○		指定	I A			
	ツバメオモト					○						
	ホウチャクソウ			○								
	チゴユリ		○	○		○						
	カタクリ			○		○					希少	
	クロユリ					○						
	ショウジョウバカマ		○									
	ヤブカンゾウ		○			○						
	ノカンゾウ					○						
	ニッコウキスゲ					○						注1
	イワギボウシ			○								
	ヤマユリ		○	○		○		指定	準絶滅			
	ウバユリ		○			○						
	ササユリ			○	○			指定	準絶滅			
コオニユリ		○	○									
クルマユリ					○							
ヤブラン		○	○									

表 2.2.4 ( 19 ) 調査対象地域における植物

科	種名	文献調査					注目根拠					備考
		N1	N2	N3	N4	N5	国 法令	国 RED	長野 法令	長野 RED	その他	
ユリ	コヤブラン					○					情報	
	チシマアマナ					○						
	マイヅルソウ			○		○						
	ジャノヒゲ	○		○								
	ナガバジャノヒゲ	○										
	オオバジャノヒゲ	○	○	○		○						
	ツクバネソウ					○						
	クルマバツクバネソウ					○						
	ナルコユリ					○						
	ワニグチソウ	○										
	アマドコロ		○	○		○						
	ヤマトユキザサ					○						
	ユキザサ					○						
	ヒロハユキザサ					○						
	サルマメ		○	○								
	サルトリイバラ		○	○								
	タチシオデ		○									
	シオデ			○								
	ヒメタケシマラン						○					
	クロミノヒメタケシマラン						○					注1
	タケシマラン			○			○					
	チシマゼキショウ						○					
	ヤマジノホトトギス		○									
	イワホトトギス			○	○					I B		注1
	ホトトギス				○	○				準絶滅		
	タマガワホトトギス		○				○					
	エンレイソウ	○					○					
	シロバナエンレイソウ		○	○								
アマナ		○			○				I B	希少		
バイケイソウ		○				○						
タカネシュロソウ						○					注1	
ホソバシュロソウ	○											
ヒガンバナ	ヒガンバナ		○									
	キツネノカミソリ		○									
ヤマノイモ	ヤマノイモ	○	○									
	ウチワドコロ	○										
	オニドコロ		○									
ミズアオイ	コナギ			○		○						
アヤメ	ノハナショウブ			○								
	ヒメシャガ	○						準絶滅	指定	II類	希少	
	カキツバタ				○			II類		準絶滅	希少	
	アヤメ		○	○								
イグサ	イグサ			○								
	コウガイゼキショウ			○								
	イトイ					○						
	エゾイトイ					○		I A		I A	希少	
	クサイ			○								
	クモマスズメノヒエ					○		準絶滅			希少	
	ヤマスズメノヒエ		○									
	タカネスズメノヒエ					○						
	ミヤマヌカボシソウ					○						
	ミヤマズズメノヒエ					○				II類		
ツユクサ	ツユクサ			○								
	ヤブミョウガ	○										
ホシクサ	クロイヌノヒゲ				○					準絶滅		
	ホシクサ					○				II類		
	ニッポンイヌノヒゲ					○						
イネ	コヌカグサ					○						
	ヤマヌカボ					○						
	ミヤマヌカボ					○						

表 2.2.4 ( 20 ) 調査対象地域における植物

科	種名	文献調査					注目根拠					備考	
		N1	N2	N3	N4	N5	国 法令	国 RED	長野 法令	長野 RED	その他		
イネ	タテヤマスカボ					○							
	スズメノテッポウ			○		○							
	セトガヤ				○					I B			
	メリケンカルカヤ					○							
	タカネコウボウ					○							
	コブナグサ			○									
	トダシバ			○									
	イワタケソウ					○				II 類			
	ホガエリガヤ					○							
	ヒメノガリヤス			○									
	ホッスガヤ					○							
	タカネノガリヤス					○							
	ミヤマノガリヤス					○							
	フサガヤ	○											
	チョウセンガリヤス	○											
	カモガヤ			○		○							
	メヒシバ		○	○									
	アブラススキ	○											
	イヌビエ			○									
	オヒシバ			○									
	エゾムギ					○							
	シナダレスズメガヤ					○							
	カゼクサ			○									
	ニワホコリ			○									
	オニウシノケグサ					○							
	ミヤマウシノケグサ					○							
	タカネウシノケグサ					○				I B			
	ヤマオオウシノケグサ					○		I A		I A	希少		
	ミヤマドジョウツナギ					○							
	ウラハグサ			○		○							
	コウボウ			○									
	チガヤ			○									
	チゴザサ			○									
	アシカキ					○				準絶滅			
	ササガヤ			○									
	アシボソ			○									
	ススキ		○	○		○							
	コチヂミザサ			○									
	イネ						○						
	チカラシバ			○									
	アワガエリ	○								I A			
	ヨシ			○									
	ツルヨシ		○	○		○							
	ハチク	○											
	コイチゴツナギ	○											
	チョウセンタチチゴツナギ					○				I B		注1	
	タカネタチチゴツナギ					○		I B		I B	希少		
	ミヤマイチゴツナギ					○				I B			
	オオイチゴツナギ	○											
	ヌメリグサ					○				準絶滅			
スズタケ			○										
フォーリーガヤ					○		I B		I B				
ウシクサ	○								I B				
キンエノコロ			○										
エノコログサ		○	○										
ヒゲシバ	○												
リシリカニツリ					○	○	II 類		準絶滅	希少			
キタダケカニツリ					○		I B		I A	希少			
ヤシ	シユロ	○											
サトイモ	ショウブ	○		○		○							

表 2.2.4 ( 2 1 ) 調査対象地域における植物

科	種名	文献調査					注目根拠					備考
		N1	N2	N3	N4	N5	国 法令	国 RED	長野 法令	長野 RED	その他	
サトイモ	セキショウ		○	○								
	ヒトツバテンナンショウ	○			○	○				II類	希少	
	ユモトマムシグサ					○						
	ヤマザトマムシグサ					○						注1
	マムシグサ		○									
	ウラシマソウ		○		○				指定	II類		
	スルガテンナンショウ		○	○		○						
	カラスビシャク					○						
ウキクサ	アオウキクサ			○		○						
	ヒンジモ	○						I B		I A	希少	
	ウキクサ			○								
ガマ	ガマ			○								
カヤツリグサ	ヒラギシスゲ	○										
	タカネヤガミスゲ	○				○		準絶滅		準絶滅	希少	
	ショウジョウスゲ	○										
	ミヤマアオスゲ	○										注1
	チャシバスゲ	○									希少	
	ミヤマシラスゲ			○								
	ハクサンスゲ					○						
	ナルコスゲ		○									
	オニスゲ			○								
	ヒナスゲ				○					II類		
	イトキンスゲ					○						
	サナギスゲ	○									希少	
	ヤマアゼスゲ			○							希少	
	カワラスゲ	○										
	ノゲヌカスゲ				○	○				準絶滅		
	ヒメスゲ					○						
	キンスゲ					○						
	コカンスゲ			○								
	カラフトイワスゲ					○			I A		I A	希少
	ゴンダンスゲ				○					準絶滅		
	アブラシバ		○									
	ミヤマアシボソスゲ					○						
	タガネソウ			○		○						
	タカネナルコ					○			I B		I A	希少
	イワスゲ					○						
	クモマシバスゲ					○						
	オノエスゲ	○					○		II類		I B	希少
	クグガヤツリ					○				準絶滅		
	タマガヤツリ			○								
	ヒナガヤツリ			○								
	アゼガヤツリ			○								
	カヤツリグサ		○									
	マツバイ						○					
	クログワイ						○					
	ヒデリコ			○								
	ヒゲハリスゲ					○			II類		II類	希少
	エゾアゼスズ	○										注1
	ヒンジガヤツリ			○								
	ホタルイ						○					
	イヌホタルイ						○					
	ハコネイトスゲ						○				I A	
	ミセンアオスゲ						○				情報	
	ラン	エビネ		○					II類		I A	希少
ホテイラン		○						I A	特別	I A	希少	
ギンラン					○	○				準絶滅		
キンラン					○			II類	特別	I B	希少	
モイワラン					○					I A		注1

表 2.2.4 (22) 調査対象地域における植物

科	種名	文献調査					注目根拠					備考	
		N1	N2	N3	N4	N5	国 法令	国 RED	長野 法令	長野 RED	その他		
ラン	ササバギンラン					○							
	タカネアオチドリ					○				I A	希少		
	シュンラン		○			○							
	コアツモリソウ					○		II類		I A	希少		
	クマガイソウ	○				○		II類	特別	I A	希少		
	アツモリソウ	○					特定国内	I B	特別	I A	希少		
	イチヨウラン				○	○				準絶滅	希少		
	セッコク	○								I A	希少		
	コイチヨウラン					○							
	エゾスズラン	○											
	カキラン				○					準絶滅			
	ツチアケビ				○					II類			
	ベニシュスラン			○	○					I A	希少		
	ヒメミヤマウズラ	○		○	○	○				準絶滅			
	テガタチドリ	○				○							
	ミズトンボ			○	○			II類		準絶滅	希少		
	フガクスズムシ					○		I B		情報		注1	
	クモキリソウ					○							
	コフタバラン					○						注1	
	アオフタバラン				○	○				II類	希少		
	ミヤマフタバラン				○	○				II類			
	タカネフタバラン					○				I B			
	ホザキイチヨウラン	○									希少		
	アリドオシラン					○					希少		
	ヒメムヨウラン					○		II類		II類	希少		
	ハクサンチドリ					○							
	ウチヨウラン					○		II類		I B	希少		
	ニョホウチドリ					○		I B		I B	希少		
	コケイラン				○	○				II類			
	ミズチドリ			○					指定	II類	希少		
	ツレサギソウ	○			○					I A	希少		
	オオバノトンボソウ				○					準絶滅			
	キソチドリ					○							
ミヤマチドリ					○				I B				
コバノトンボソウ				○					準絶滅				
カヤラン	○			○	○			指定	I A				
シロモジズリ	○										注1		
ネジバナ		○	○										
クモラン					○				I A				

備考：種名は、植物目録1987（1988年：環境庁自然保護局）に従いました。

：注目すべき種の根拠は表 2.2.5 参照。

注1：文献に記載されている種名をそのまま用いました。

出典：N1, 南信濃村史（昭和51年：南信濃村）

N2, 天龍村の植物（平成4年：天龍村教育委員会）

N3, 天龍村史（平成12年：天龍村）

N4, 長野県の絶滅のおそれのある野生生物 維管束植物編（平成14年度：長野県）

N5, 南信濃村植物誌「遠山に生きる植物たち」（平成17年：南信濃村教育委員会）

表 2.2.5 重要な種及び群落の選定根拠

根拠とする法令・条例及び文献		ランク区分	
略称	名 称	記号	名 称
国法令	「文化財保護法」（昭和25年：法律第214号）に基づき指定された植物に係る天然記念物	特天	国指定の特別天然記念物
		国天	国指定の天然記念物
	「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」（平成4年：法律第75号）の対象とされた種	特定国内	特定国内希少野生動植物種
		緊急	緊急指定種
		国内	国内希少野生動植物種
群落RDB	植物群落レッドデータブック（平成8年：（財）日本自然保護協会）に記載されている植物群落	群落	緊急な保護を必要とする植物群落
国RED	改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物ーレッドデータブックー（平成12年：環境庁：植物Ⅰ、植物Ⅱ）	絶滅	絶滅
		野生	野生絶滅
		I A	絶滅危惧ⅠA類
		I B	絶滅危惧ⅠB類
		Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類
		準絶滅	準絶滅危惧
		情報	情報不足
個体群	絶滅のおそれのある地域個体群		
長野法令	「長野文化財保護条例」（昭和50年：長野県）に基づき指定された植物に係る天然記念物	長天	長野県指定の天然記念物
		特別指定	特別指定希少野生動植物
	「長野県希少野生動植物保護条例」（平成15年：長野県条例第32号）	指定	指定希少野生動植物
長野RED	長野県版レッドデータブック～長野県の絶滅のおそれのある野生生物～維管束植物編（平成14年：長野県）	絶滅	絶滅
		野生	野生絶滅
		I A	絶滅危惧ⅠA類
		I B	絶滅危惧ⅠB類
		Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類
		準絶滅	準絶滅危惧
		情報	情報不足
		個体群	絶滅のおそれのある地域個体群
希雑	希少な雑種		
その他	学識経験者により指摘された種	希少	希少な種



## (2) 動物の生息状況

### 1) 哺乳類

調査対象地域における哺乳類の主な生息情報を表 2.2.6 に示します。

調査対象地域には、7目16科37種の哺乳類の生息情報があり、このうちアズミトガリネズミ、カワネズミ、トガリネズミ、ミズラモグラ、コキクガシラコウモリ、キクガシラコウモリ、モモジロコウモリ、ウサギコウモリ、ニホンテングコウモリ、ニホンザル、ニホンリス、ホンドモモンガ、ムササビ、ヤマネ、ホンシュウカヤネズミ、ニホンツキノワグマ、オコジョ及びニホンカモシカが注目すべき種に該当します。

標高差が大きい当地域は、高山帯を主な生息場所とするアズミトガリネズミ、オコジョから山地帯に生息するニホンジカ、ジネズミまで多様な種が見られる環境です。

表 2.2.6 調査対象地域における哺乳類

目	科	種名	文献調査						注目根拠							
			N1	N2	N3	N4	N5	N6	国 法令	国 RED	第1回	第2回	長野 法令	長野 RED	その他	
モグラ目	トガリネズミ科	アズミトガリネズミ	○												準絶滅	
		ジネズミ	○	○												
		カワネズミ	○	○				○							準絶滅	希少
		トガリネズミ科の一種	○													
		トガリネズミ						○							準絶滅	
	モグラ科	ヒメヒミズ	○	○												
		ヒミズ	○	○												
		ミズラモグラ	○	○											注1	希少
		アズマモグラ	○	○												
		コウベモグラ	○	○												
コウモリ目	キクガシラコウモリ科	コキクガシラコウモリ	○	○											留意	希少
		キクガシラコウモリ	○												留意	希少
	ヒナコウモリ科	モモジロコウモリ	○	○				○							準絶滅	希少
		ウサギコウモリ	○												準絶滅	希少
		ニホンテングコウモリ						○							準絶滅	
サル目	オナガザル科	ニホンザル	○	○	○										希少	
ウサギ目	ウサギ科	ノウサギ	○	○	○											
ネズミ目	リス科	ニホンリス	○	○	○											希少
		ホンドモモンガ	○	○	○			○					長天	準絶滅	希少	
		ムササビ	○	○	○											希少
	ヤマネ科	ヤマネ	○						国天	準絶滅					準絶滅	希少
		ネズミ科	トウホクヤチネズミ	○												
	スミスネズミ		○													
	アカネズミ		○	○												
	ヒメネズミ		○	○												
	ホンシュウカヤネズミ							○								Ⅱ類
	ネコ目	クマ科	ニホンツキノワグマ	○	○	○										個体群
イヌ科		ホンドタヌキ	○	○	○											
		ホンドキツネ	○	○	○											
イタチ科		ホンドテン		○	○											
		ニホンイタチ	○	○	○											
		ホンドオコジョ	○	○									長天	準絶滅	希少	
ニホンアナグマ		○	○	○												
ジャコウネコ科	ハクビシン	○	○	○												
ウシ目	イノシシ科	ニホンイノシシ	○	○	○											
	シカ科	ニホンジカ	○	○	○											
	ウシ科	ニホンカモシカ	○	○	○				特天							

備考：種名は「日本産野生生物目録－本邦産野生動植物の種の現状－脊椎動物編」（平成5年：環境庁編）に従いました。

：注目すべき種の根拠は表 2.2.13 参照。

注1：亜種シナノミズラモグラ、長野RED（準絶滅危惧種）

出典：N1, 南信濃村動物誌－遠山郷に生きる動物たち－（平成10年：南信濃村教育委員会）

N2, 南信濃村史（昭和51年：南信濃村）

N3, 天龍村史（平成12年：天龍村）

N4, 第1回自然環境保全基礎調査「すぐれた自然図 長野県」（昭和51年：環境庁）

N5, 第2回自然環境保全基礎調査「長野県 動植物分布図」（昭和56年：環境庁）

N6, 長野県の絶滅のおそれのある野生生物 動物編（平成16年度：長野県）

## 2) 鳥類

調査対象地域における鳥類の主な生息情報を表 2.2.7 (1)～(2)に示します。

調査対象地域には、15目39科97種の鳥類の生息情報があり、このうち、オオタカ、クマタカ、ライチョウ、ブッポウソウ、ヤイロチョウ、及びサンショウクイ等が注目すべき種に該当します。

深い森に囲まれる当地域では、森林に生息する種が主に見られ、ブッポウソウ、アカショウビン、ヤイロチョウなど珍しい種も少なくありません。

一方、河川はいずれも急流で川幅は狭いため、水辺に生息している種は確認されておらず、溪流性のカワガラスが河川に広く分布しており、溪流的な河川であることを示しています。また、標高差が大きいことから、高山帯で繁殖するライチョウ、イワヒバリから人里に生息するスズメ、ハシボソガラスまで多様な種が見られる環境です。

表 2.2.7 ( 1 ) 調査対象地域における鳥類

目	科	種名	文献調査						注目根拠							
			N1	N2	N3	N4	N5	N6	国 法令	国 RED	第1回	第2回	長野 法令	長野 RED	その他	
カイツブリ目	カイツブリ科	カイツブリ			○											
コウノトリ目	サギ科	コサギ			○											
		アオサギ			○											
		ミゾゴイ						○							II種	
		チュウサギ						○							準絶滅	
カモ目	カモ科	オシドリ			○										個体群	
		マガモ			○										個体群	
		カルガモ			○											
		コガモ			○											
		カワアイサ			○											
		トモエガモ						○								I B
タカ目	タカ科	ハチクマ					○			準絶滅					II類	希少
		トビ	○	○												
		オオタカ	○				○	国内	II類						II類	希少
		ハイタカ					○		準絶滅						II類	希少
		ノスリ					○								準絶滅	
		クマタカ	○	○			○	国内	I B				指定	I B	希少	
		イヌワシ					○	国天 国内	I B				特別	I A	希少	
キジ目	ライチョウ科	ライチョウ	○	○					特天 国内	II類			指定	II類	希少	
	キジ科	ヤマドリ		○												希少
		キジ		○												
チドリ目	チドリ科	イカルチドリ			○		○							準絶滅	希少	
		コチドリ					○							準絶滅		
	シギ科	イソシギ			○											
ハト目	ハト科	キジバト	○	○												
		アオバト	○	○			○								準絶滅	
カッコウ目	カッコウ科	ジュウイチ	○													
		カッコウ	○													
		ツツドリ	○													
		ホトトギス	○	○												
フクロウ目	フクロウ科	コノハズク	○	○			○								II類	希少
		オオコノハズク	○												情報	希少
		アオバズク	○				○								II類	希少
		フクロウ	○				○								準絶滅	希少
ヨタカ目	ヨタカ科	ヨタカ	○				○							II類	希少	
アマツバメ目	アマツバメ科	アマツバメ	○													
ブッポウソウ目	カワセミ科	ヤマセミ	○	○			○								準絶滅	希少
		アカショウビン	○	○			○								II類	希少
		カワセミ	○	○												
	ブッポウソウ科	ブッポウソウ	○	○			○		II類			特別	I A	希少		
キツツキ目	キツツキ科	アオゲラ	○	○												
		アカゲラ	○													
		コゲラ	○	○												
ヤイロチョウ科	ヤイロチョウ	○	○			○	国内	I B				長大 指定	I A	希少		
スズメ目	ツバメ科	ツバメ	○	○												
		イワツバメ	○	○												
	セキレイ科	キセキレイ	○	○												
		ハクセキレイ	○	○												
		セグロセキレイ	○	○												
	サンショウクイ科	サンショウクイ	○	○			○		II類						II類	希少
	ヒヨドリ科	ヒヨドリ	○	○												
	モズ科	モズ	○													
	カワガラス科	カワガラス	○	○												
	ミソサザイ科	ミソサザイ	○													
	イワヒバリ科	イワヒバリ	○	○												
		カヤクグリ	○													
	ツグミ科	コマドリ	○													
コルリ		○														

表 2.2.7 (2) 調査対象地域における鳥類

目	科	種名	文献調査						注目根拠							
			N1	N2	N3	N4	N5	N6	国 法令	国 RED	第1回	第2回	長野 法令	長野 RED	その他	
スズメ目	ツグミ科	ルリビタキ	○													
		マミジロ	○												準絶滅	
		トラツグミ	○													
		クロツグミ	○													
		アカハラ	○													
	ツグミ	○														
	ウグイス科	ヤブサメ			○											
		ウグイス	○		○											
		メボソムシクイ	○													
		センダイムシクイ	○													
	ヒタキ科	キビタキ	○		○											
		オオルリ	○		○											
	カササギヒタキ科	サンコウチョウ			○			○							II類	希少
	エナガ科	エナガ	○													
	シジュウカラ科	コガラ	○													
		ヒガラ	○													
		ヤマガラ	○		○											
		シジュウカラ	○		○											
	ゴジュウカラ科	ゴジュウカラ	○													
	メジロ科	メジロ	○		○											
	ホオジロ科	ホオジロ	○		○											
		カシラダカ	○													
		ミヤマホオジロ	○													希少
		アオジ	○													
	アトリ科	アトリ	○													
		カワラヒワ	○		○											
		マヒワ	○													
		ハギマシコ	○													
		イスカ	○													
		ベニマシコ	○													
ウソ		○														
イカル	○															
ハタオリドリ科	スズメ	○		○												
ムクドリ科	ムクドリ	○		○												
カラス科	カケス	○		○												
	ホシガラス	○														
	ハシボソガラス	○		○												
	ハシブトガラス	○		○												
ハト目	ハト科	ドバト	○													

備考：種名は「日本鳥類目録 改訂第6版」（2000年：日本鳥学会編集）に従いました。

：注目すべき種の根拠は表 2.2.13 参照。

出典：N1, 南信濃村動物誌—遠山郷に生きる動物たち—（平成10年：南信濃村教育委員会）

N2, 南信濃村史（昭和51年：南信濃村）

N3, 天龍村史（平成12年：天龍村）

N4, 第1回自然環境保全基礎調査「すぐれた自然図 長野県」（昭和51年：環境庁）

N5, 第2回自然環境保全基礎調査「長野県 動植物分布図」（昭和56年：環境庁）

N6, 長野県の絶滅のおそれのある野生生物 動物編（平成16年度：長野県）

### 3) は虫類

調査対象地域におけるは虫類の主な生息情報を表 2.2.8 に示します。

調査対象地域には、1目4科10種のは虫類の生息情報があり、このうち、タカチホヘビ、シロマダラ、ヒバカリが注目すべき種に該当します。

ヘビを含むトカゲ目のみの生息情報が有ります。森林、宅地、耕作地などは虫類にとって良好な生息環境を有しています。

表 2.2.8 調査対象地域におけるは虫類

目	科	種名	文献調査						注目根拠						
			N1	N2	N3	N4	N5	N6	国 法令	国 RED	第1回	第2回	長野 法令	長野 RED	その他
トカゲ目	トカゲ科	トカゲ			○										
	カナヘビ科	カナヘビ			○										
	ヘビ科	タカチホヘビ	○		○										情報
		シマヘビ	○		○										
		ジムグリ	○		○										
		アオダイショウ			○										
		シロマダラ	○												情報 希少
		ヒバカリ	○												情報
	ヤマカガシ	○		○											
クサリヘビ科	マムシ	○		○											

備考：種名は「日本産野生生物目録－本邦産野生動物の種の現状－脊椎動物編」

(平成5年：環境庁編)に従いました。

：注目すべき種の根拠は表 2. 2. 1 3 参照。

出典：N1, 南信濃村動物誌－遠山郷に生きる動物たち－(平成10年：南信濃村教育委員会)

N2, 南信濃村史(昭和51年：南信濃村)

N3, 天龍村史(平成12年：天龍村)

N4, 第1回自然環境保全基礎調査「すぐれた自然図 長野県」(昭和51年：環境庁)

N5, 第2回自然環境保全基礎調査「長野県 動植物分布図」(昭和56年：環境庁)

N6, 長野県の絶滅のおそれのある野生生物 動物編(平成16年度：長野県)

#### 4) 両生類

調査対象地域における両生類の主な生息情報を表 2.2.9 に示します。

調査対象地域には、2目6科14種の両生類の生息情報があり、このうち、ヒダサンショウウオ、ハコネサンショウウオ、アカイシサンショウウオ、アズマヒキガエル、ナガレタゴカエル、トノサマガエル、ツチガエル、モリアオガエル、カジカガエルが注目すべき種に該当します。

確認されている両生類を卵や幼生が過ごす水域をもって区分しますと、当地域の両生類はヒダサンショウウオ、ハコネサンショウウオ及びカジカガエルなどの溪流性の種が見られ、また、湧水が随所に見られることから、湧水性のタゴガエルの多い地域でもあります。止水性の種（水田や池で産卵する種）は成体になって森林に生息するアズマヒキガエル、草地に生息するイモリ、アマガエルが見られます。

従って、全域として豊富な両生類相を有しています。

表 2.2.9 調査対象地域における両生類

目	科	種名	文献調査						注目根拠								
			N1	N2	N3	N4	N5	N6	国 法令	国 RED	第1回	第2回	長野 法令	長野 RED	その他		
サンショウウオ目	サンショウウオ科	ヒダサンショウウオ	○		○			○							準絶滅	希少	
		ハコネサンショウウオ	○		○											希少	
		アカイシサンショウウオ						○							指定	I A	希少
	イモリ科	ニホンイモリ	○		○												
カエル目	ヒキガエル科	アズマヒキガエル	○		○											希少	
		アマガエル科	アマガエル	○		○											
	アカガエル科	タゴガエル	○		○												
		ナガレタゴガエル	○		○										情報	希少	
		ヤマアカガエル	○		○												
		トノサマガエル	○		○												希少
		ツチガエル			○				○							II類	
	アオガエル科	シユレーゲルアオガエル	○		○												
		モリアオガエル	○	○	○			○	○							準絶滅	希少
カジカガエル		○		○												希少	

備考：種名は「日本産野生生物目録－本邦産野生動物の種の現状－脊椎動物編」（平成5年：環境庁編）に従いました。

：注目すべき種の根拠は表 2.2.13 参照。

出典：N1, 南信濃村動物誌－遠山郷に生きる動物たち－（平成10年：南信濃村教育委員会）

N2, 南信濃村史（昭和51年：南信濃村）

N3, 天龍村史（平成12年：天龍村）

N4, 第1回自然環境保全基礎調査「すぐれた自然図 長野県」（昭和51年：環境庁）

N5, 第2回自然環境保全基礎調査「長野県 動物分布図」（昭和56年：環境庁）

N6, 長野県の絶滅のおそれのある野生動物 動物編（平成16年度：長野県）

5) 魚類

調査対象地域における魚類の主な生息情報を表 2.2.10 に示します。

調査対象地域には、6目11科26種の魚類の生息情報があり、このうち、スナヤツメ、ウナギ、カワムツ、シマドジョウ、アカザ、アユ、ヤマトイワナ、ヤマメ、アマゴ、ニッコウイワナ、サツキマス、カジカは注目すべき種に該当します。

アマゴ、ヤマトイワナ、カジカは以前から生息しており、当地域の代表的な種はアマゴで、釣りの対象として現在でも放流が盛んに行われています。

アユ、ウナギは、以前は天然で生息していましたが、現在は放流によって分布を保っているものと考えられます。

表 2.2.10 調査対象地域における魚類

目	科	種名	文献調査						注目根拠								
			N1	N2	N3	N4	N5	N6	国 法令	国 RED	第1回	第2回	長野 法令	長野 RED	その他		
ウナギ目	ヤツメウナギ科	スナヤツメ		○											II類	希少	
	ウナギ科	ウナギ	○	○												野生	
コイ目	コイ科	コイ	○	○	○												
		ゲンゴロウブナ	○														
		フナ的一种			○												
		ハス	○														
		オイカワ	○	○													
		カワムツ	○														希少
		アブラハヤ		○													
		ウグイ	○	○	○												
		ハヤ的一种			○												
	カマツカ	○	○														
ドジョウ科	ドジョウ	○															
	シマドジョウ		○													希少	
ナマズ目	ナマズ科	ナマズ		○													
	アカザ科	アカザ	○	○											II類	準絶滅 希少	
サケ目	キュウリウオ科	ワカサギ	○														
	アユ科	アユ	○	○	○												野生
		ヤマトイワナ	○	○	○				○								準絶滅 希少
		ヤマメ			○				○								準絶滅
		アマゴ	○	○	○												準絶滅 希少
		ニジマス	○	○													
		ニッコウイワナ							○								準絶滅
サツキマス							○								準絶滅		
カサゴ目	カジカ科	カジカ	○	○	○				○							準絶滅 希少	
スズキ目	ハゼ科	ヨシノボリ的一种	○	○													

備考：種名は「日本産野生生物目録－本邦産野生動植物の種の現状－脊椎動物編」（平成5年：環境庁編）に従いました。

：注目すべき種の根拠は表 2.2.13 参照。

出典：N1, 南信濃村動物誌－遠山郷に生きる動物たち－（平成10年：南信濃村教育委員会）

N2, 南信濃村史（昭和51年：南信濃村）

N3, 天龍村史（平成12年：天龍村）

N4, 第1回自然環境保全基礎調査「すぐれた自然図 長野県」（昭和51年：環境庁）

N5, 第2回自然環境保全基礎調査「長野県 動植物分布図」（昭和56年：環境庁）

N6, 長野県の絶滅のおそれのある野生生物 動物編（平成16年度：長野県）



## 6) 昆虫類

調査対象地域における昆虫類の生息情報を表 2.2.1 1 (1) ~ (4) に示します。

調査対象地域には、12目61科188種の昆虫の生息情報があり、このうち7目29科55種の注目すべき種が確認されています。

表 2.2.11 (1) 調査対象地域における昆虫類

目	科	種名	文献調査						注目根拠					備考				
			N1	N2	N3	N4	N5	N6	国 法令	国 RED	第1回	第2回	長野 法令		長野 RED	その他		
カゲロウ目	ヒラタカゲロウ科	エルモンヒラタカゲロウ	○															
	モンカゲロウ科	フタスジモンカゲロウ	○															
トンボ目	イトトンボ科	クロイトトンボ	○															
	アオイトトンボ科	ホソミオツネトンボ	○															
	カワトンボ科	カワトンボ科の一種	○													注1		
	ムカシトンボ科	ムカシトンボ	○															
	ヤンマ科	クロスジギンヤンマ	○														II類	
		ギンヤンマ	○														準絶滅	
	オニヤンマ科	オニヤンマ	○														準絶滅	
トンボ科	シオカラトンボ	○																
	シオヤトンボ	○																
	オオシオカラトンボ	○																
カワゲラ目	トワダカワゲラ科	ミネトワダカワゲラ	○													留意		
	ヒロムネカワゲラ科	ノギカワゲラ	○													準絶滅		
	カワゲラ科	カミムラカワゲラ	○															
		トウゴウカワゲラ属の一種	○														注1	
	不明科	カワゲラ目の一種			○												注1	
ゴキブリ目	オオゴキブリ科	オオゴキブリ			○													
カマキリ目	ヒメカマキリ科	ヒメカマキリ			○													
バッタ目	カマドウマ科	ヒラタクチキウマ	○															
		コオロギ科	エンマコオロギ	○														
		ハラオカメコオロギ			○													
		モリオカメコオロギ			○													
		ツツレサセコオロギ			○													
		ナツノツツレサセコオロギ			○												注1	
		エソスズ	○															
		マダラスズ			○													
		カワラスズ	○		○													
		ヒゲシロスズ			○													
		ハマスズ	○														I類 希少	
		シバスズ			○													
	クサヒバリ科	クサヒバリ			○													
		ヤマトヒバリ	○															
	スズムシ科	スズムシ	○		○												個体群	
	カネタタキ科	カネタタキ	○		○													
	カンタン科	カンタン	○		○													
	キリギリス科	ツユムシ			○													
		アシグロツユムシ			○													
		セスジツユムシ			○													
		ムサシツユムシモドキ	○															
		クツワムシ			○													
		コバナヒメギス			○													
		キリギリス	○		○													
		キンキヤブキリ			○													注1
		クサキリ			○													
		ハヤシノウマオイ			○													注1
		バッタ科	クルマバッタ			○												
			カワラバッタ	○														
			アカイシコバナヒナバッタ	○														希少 注1
	ツチイナゴ				○													
		テカリダケフキバッタ	○														希少 注1	
	カメムシ目	セミ科	ハルゼミ	○														
チッチゼミ			○														留意	
カンムリヨコバイ科		テングオオヨコバイ	○								情報							
コウチュウ目	カワラゴミムシ科	カワラゴミムシ	○														準絶滅	
		オサムシ科	ミカワオサムシ	○		○												
		カケガワオサムシ	○		○													
		テンリュウオサムシ	○		○													
		オオオサムシ	○															

表 2.2.11 (2) 調査対象地域における昆虫類

目	科	種名	文献調査						注目根拠						備考							
			N1	N2	N3	N4	N5	N6	国 法令	国 RED	第1回	第2回	長野 法令	長野 RED		その他						
コウチュウ目	オサムシ科	アオオサムシ			○																	
		イナオサムシ			○														注2			
		ヤマトオサムシ	○																			
		オオクロナガオサムシ	○																			
		クロナガオサムシ	○																			
		コクロナガオサムシ	○																		注1	
		オオマルクビゴミムシ	○																			
		オサムシモドキ	○																			
		ムナビロナガゴミムシ	○																			
		マスモトナガゴミムシ	○																			
		ジュンサイオオナガゴミムシ	○																			
		ミヤマナガゴミムシ	○																			
		アカイシミヤマナガゴミムシ	○																			注1
		リュウトウナガゴミムシ	○						○													II類
		ノグチアオゴミムシ	○																			
		コホソクビゴミムシ	○																			
		スルガナガゴミムシ							○													準絶滅
		マスモトオオナガゴミムシ							○													準絶滅
		アシグロツヤゴモクムシ							○													準絶滅
	シデムシ科		ベッコウヒラタシデムシ					○														II類
	クワガタムシ科		ツヤハダクワガタ	○																		
			マダラクワガタ	○																		
			ミヤマクワガタ	○																		
			ノコギリクワガタ	○																		
			コルリクワガタ	○																		
			ルリクワガタ	○					○													準絶滅
			ヒメオオクワガタ	○																		準絶滅
		アカアシクワガタ	○																			
		コクワガタ	○																			
		スジクワガタ	○																			
		ミヤマツヤハダクワガタ						○													準絶滅	
センチコガネ科			オオセンチコガネ	○																		準絶滅
		センチコガネ	○																			
コガネムシ科		ゴホンダイコクコガネ	○																		II類	
		ミヤマダイコクコガネ	○																		準絶滅	
		マエカドコエンマコガネ	○																			
		クロマルエンマコガネ	○																			
		コブマルエンマコガネ	○																			
		オオチャイロハナムグリ	○					○		準絶滅											I類	希少
	カブトムシ	○																				
マルトゲムシ科		シナノマルトゲムシ	○																			
ダエンマルトゲムシ科		シラホシダエンマルトゲムシ	○																			
タマムシ科		アオタマムシ					○														II類	
		アカハリミドリタマムシ					○														I類	
		ヤマトタマムシ					○														II類	
コメツキムシ科		ミヤマヒサゴメツキ	○																		情報	
ホタル科		ヒメボタル	○				○														準絶滅	
テントウムシ科		ダイモンテントウ	○																		II類	
ハナノミ科		ヤクハナノミ					○														II類	
カミキリムシ科		ベーツヒラタカミキリ			○																	
		ニセノコギリカミキリ			○																	
		ケプトハナカミキリ			○																	
		オトメクビアカハナカミキリ	○																			II類
		ヒゲプトハナカミキリ	○																			準絶滅
		ベーツヤサカミキリ			○																	
		キマダラカミキリ			○																	
		スネケブカヒロコバネカミキリ			○																	
		オオアオカミキリ	○																			
		オオトラカミキリ			○																	II類
		フタオビミドリトラカミキリ			○																	

表 2.2.11 (3) 調査対象地域における昆虫類

目	科	種名	文献調査						注目根拠						備考			
			N1	N2	N3	N4	N5	N6	国 法令	国 RED	第1回	第2回	長野 法令	長野 RED		その他		
コウチュウ目	カミキリムシ科	フタホシサビカミキリ			○													
		マツノマダラカミキリ			○													
		オオシロカミキリ			○													
		ラミーカミキリ			○													
		イッシキモンキカミキリ	○															
ハチ目	スズメバチ科	オオスズメバチ			○													
	ミツバチ科	ニホンミツバチ			○													
ハエ目	アミカ科	スカシアミカ	○															
トビケラ目	ナガレトビケラ科	オオナガレトビケラ	○							準絶滅				準絶滅				
	ヒゲナガカワトビケラ科	ヒゲナガカワトビケラ	○															
	トビケラ科	ムラサキトビケラ	○															
	フトヒゲトビケラ科	フタスジキソトビケラ	○															
	エグリトビケラ科	クロツツトビケラ	○															
	カクスイトビケラ科	マルツツトビケラ属の一種	○															注1
チョウ目	スガ科	メノコクチブサガ	○															
	マルハキバガ科	ヤマトマルハキバガ			○													
	メイガ科	タカネットガ	○															
		ホソバソトグロキノメイガ	○															注1
	セセリチョウ科	ミヤマチャバネセセリ						○								II類		
		スジグロチャバネセセリ						○		準絶滅					II類	希少		
		キマダラセセリ						○							準絶滅			
		チャマダラセセリ						○		I類					I B	希少		
	アゲハチョウ科	ギフチョウ			○		○			II類					準絶滅	希少		
		アオスジアゲハ			○													
	シジミチョウ科	ウラキシジミ	○															
		ヒサマツミドリシジミ			○		○									準絶滅		
		ベニモンカラスシジミ	○		○		○									準絶滅	希少	
		キマダラルリツバメ					○			準絶滅						II類		
		スギタニルリシジミ	○															
		クロツバメシジミ	○							準絶滅						留意	希少	
		ミヤマシジミ						○		II類						準絶滅	希少	
		ウラナミアカシジミ						○								準絶滅		
	キリシマミドリシジミ						○								留意			
タテハチョウ科	ミスジチョウ	○																
	サカハチチョウ	○																
	キタテハ	○																
	シータテハ	○																
	エルタテハ	○																
	キベリタテハ	○																
	クジャクチョウ	○																
	アカタテハ	○																
	ルリタテハ	○																
	スミナガシ	○																
	オオムラサキ	○							準絶滅						留意	希少		
	ジャノメチョウ科	ベニヒカゲ	○											長天	留意	希少	注1	
クモマベニヒカゲ		○											長天	留意	希少	注1		
ツマジロウラジャノメ		○																
クロノマチョウ		○		○														
クロヒカゲモドキ							○								II類			
シャクガ科	シロオビフユシャク	○																
	アヤコバナナミシャク	○																
	チャオビフユエダシャク			○														
ヤマユガ科	ヒメヤマユ	○																
	クロウスタビガ	○																
シャチホコガ科	クシヒゲシャチホコ	○																
ヒトリガ科	キベリチビコケガ			○														
	ヒメキシタヒトリ						○								準絶滅			
ヤガ科	ホッキョクモンヤガ	○																
	アルプスヤガ	○																
	アズサキリガ			○											留意			

表 2.2.11(4) 調査対象地域における昆虫類

目	科	種名	文献調査						注目根拠						備考			
			N1	N2	N3	N4	N5	N6	国 法令	国 RED	第1回	第2回	長野 法令	長野 RED		その他		
チョウ目	ヤガ科	ヤマノモンキリガ	○														注1	
		テンスジキリガ	○															
		ホシオビキリガ	○															
		ゴマダラキリガ	○															
		アオバハガタヨトウ	○															
		ウスイロキシタバ			○													準絶滅
		ソトウスベニアツバ			○													
キモンクロアツバ	○																	

備考：種名は「日本産昆虫総目録」（1989, 同追加・訂正1990：九州大学農学部昆虫学教室・日本野生生物研究センター）に従いました。

：注目すべき種の根拠は表 2.2.13 参照。

注1：文献に記載されている種名をそのまま用いました。

注2：長野RED, 個体群（交雑地域個体個体群：アオオサムシ×ミカワオサムシ）

出典：N1, 南信濃村動物誌—遠山郷に生きる動物たち—（平成10年：南信濃村教育委員会）

N2, 南信濃村史（昭和51年：南信濃村）

N3, 天龍村史（平成12年：天龍村）

N4, 第1回自然環境保全基礎調査「すぐれた自然図 長野県」（昭和51年：環境庁）

N5, 第2回自然環境保全基礎調査「長野県 動植物分布図」（昭和56年：環境庁）

N6, 長野県の絶滅のおそれのある野生生物 動物編（平成16年度：長野県）

## 7) 貝類

調査対象地域における貝類の生息情報を表 2.2.1 2 に示します。

調査対象地域には、3目4科5種の貝の生息情報があり、このうちベニゴマオカタニシ、ゴマオカタニシ、コシダカヒメモノアラガイ、ミヤマヒダリマキマイマイ、タワラガイは注目すべき種に該当します。

表 2.2.1 2 調査対象地域における貝類

目	科	種名	文献調査						注目根拠						
			N1	N2	N3	N4	N5	N6	国 法令	国 RED	第1回	第2回	長野 法令	長野 RED	その他
オキナエビス目	ゴマオカタニシ科	ベニゴマオカタニシ						○							I 類
		ゴマオカタニシ						○							II 類
モノアラガイ目	モノアラガイ科	コシダカヒメモノアラガイ													I 類
マイマイ目	オナジマイマイ科	ミヤマヒダリマキマイマイ						○							II 類
	タワラガイ科	タワラガイ						○							準絶滅

備考：種名は「日本産野生生物目録－本邦産野生動植物の種の現状－無脊椎動物編Ⅲ」（平成10年：環境庁編）に従いました。

：注目すべき種の根拠は表 2.2.1 3 参照。

出典：N1, 南信濃村動物誌－遠山郷に生きる動物たち－（平成10年：南信濃村教育委員会）

N2, 南信濃村史（昭和51年：南信濃村）

N3, 天龍村史（平成12年：天龍村）

N4, 第1回自然環境保全基礎調査「すぐれた自然図 長野県」（昭和51年：環境庁）

N5, 第2回自然環境保全基礎調査「長野県 動植物分布図」（昭和56年：環境庁）

N6, 長野県の絶滅のおそれのある野生生物 動物編（平成16年度：長野県）

表 2.2.13 重要な種及び生息地の選定根拠

根拠とする法令・条例及び文献		ランク区分			
記号	名 称	記号	名 称		
国法令	「文化財保護法」(昭和25年：法律第214号)に基づき指定された動物に係る天然記念物	特天	国指定の特別天然記念物		
		国天	国指定の天然記念物		
	「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(平成4年：法律第75号)の対象とされた種	特定国内	特定国内希少野生動植物種		
		国内	国内希少野生動植物種		
		緊急	緊急指定種		
国RED	改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物—レッドデータブック—<哺乳類>(平成14年：環境省)、同<鳥類>(平成14年：環境省)、同<爬虫類・両生類>(平成12年：環境庁)、同<汽水・淡水魚類>(平成15年：環境省)、同<陸・淡水産貝類>(平成17年：環境省)の記載種およびレッドデータブックの基礎となる日本の絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト(平成12年：環境庁_昆虫類・クモ類・甲殻類等)の選定種	絶滅	絶滅		
		野生	野生絶滅		
		I A	絶滅危惧 I A類		
		I B	絶滅危惧 I B類		
		II類	絶滅危惧 II類		
		準絶滅	準絶滅危惧		
		情報	情報不足		
		個体群	絶滅のおそれのある地域個体群		
		第1回	第1回自然環境保全基礎調査「すぐれた自然図」(昭和51年：環境庁)に記載されたすぐれた自然・野生生物	○	—
		第2回	第2回自然環境保全基礎調査(昭和56年：環境庁)に記載された哺乳類、希少鳥類、両生類・は虫類、淡水魚類、指標昆虫類、特定昆虫類(長野県)	○	—
長野法令	長野県文化財保護条例(昭和50年：長野県)に基づき指定された動物に係る天然記念物	長天	長野県指定の天然記念物		
		特別指定	特別指定希少野生動植物		
長野RED	長野県版レッドデータブック～長野県の絶滅のおそれのある野生生物～動物編(平成16年：長野県)	絶滅	絶滅		
		野生	野生絶滅		
		I A	絶滅危惧 I A類		
		I B	絶滅危惧 I B類		
		II類	絶滅危惧 II類		
		準絶滅	準絶滅危惧		
		情報	情報不足		
		個体群	絶滅のおそれのある地域個体群		
留意	留意種				
その他	学識経験者により指摘された種	希少	希少な種		

### (3) 注目すべき種等

#### 1) 植物

調査区域の注目すべき植物の生育情報は、表 2.2.14 (1) ~ (6) に示すとおりであり、生育地が明らかなものについてはその生育地を、図 2.2.10 に示します。調査区域には、赤石山脈（南アルプス）の自然植生及び亜高山帯から高山帯の各種群落（現存植生図によれば、調査区域では、コメツガ群落）、熊伏山周辺のスズタケ・ブナ群団、遠山川周辺のアラカシ群落など、多様な植物群落が見られます。

なお、調査区域内には第4回自然環境保全基礎調査の「巨樹・巨木林」（平成9年：環境庁）はありません。

表 2.2.14 (1) 注目すべき植物

種類	記号	名称	出典
すぐれた自然・植物群落	1	アラカシ群落	ア
	2	亜高山帯から高山帯の各種群落	
	3	スズタケ・ブナ群団	
特定植物群落	4	赤石山脈の自然植生	イ、ウ
	5	天竜川の暖帯林	

出典：ア\_第1回自然環境保全基礎調査「すぐれた自然図長野県」（昭和51年：環境庁）  
：イ\_第2回自然環境保全基礎調査「長野県動植物分布図」（昭和56年：環境庁）  
：ウ\_第3回自然環境保全基礎調査「長野県自然環境情報図」（平成元年：環境庁）



表 2.2.14 (2) 注目すべき植物

科	種名	文献調査					注目根拠					備考
		N1	N2	N3	N4	N5	国 法令	国 RED	長野 法令	長野 RED	その他	
ヒカゲノカズラ	アスヒカズラ	○								情報	希少	
	スギラン	○						I B			希少	
	コスギラン	○				○				情報		
ハナヤスリ	ヒメハナワラビ				○	○		II類		準絶滅	希少	
コケシノブ	チチブホラゴケ	○									希少	
ミズワラビ	イヌイワガネソウ	○								希雑		
	ヤツガタケシノブ					○				I B	希少	
チョウセンシダ	オクタマシダ				○	○				I B		
オシダ	キヨスミヒメワラビ				○	○				II類		
	ヒロハヤブソテツ					○					希少	
	カラフトメンマ					○					希少	
	タニヘゴ			○							希少	
	イナデンダ	○							準絶滅		希少	
	オニイノデ				○						希少	
	ヒメカナワラビ				○	○				I B		
メシダ	ウスバミヤマノコギリシダ				○						希少	
	ノコギリシダ			○						情報		
	イワウサギシダ	○									希少	
ウラボシ	クラガリシダ				○	○		I B		II類	希少	
	ウロコノキシノブ		○	○	○	○		I A	特別	I A		
	クリハラン			○	○					I A		
	アオネカズラ			○	○					I A	希少	
	イワオモダカ	○			○	○				II類		
ヒメウラボシ	オオクボシダ	○			○	○			準絶滅			
サンショウモ	サンショウモ				○			II類		II類	希少	
マツ	イラモミ				○					準絶滅		
	アズサバラモミ					○				I A		
	ヒメマツハダ					○				II類		
ヤナギ	コマイワヤナギ			○	○			II類		準絶滅	希少	
カバノキ	カワラハンノキ				○					II類		
ブナ	アカガシ			○	○	○				I A		
ニレ	ムクノキ			○	○					I B		
イラクサ	ヒメウワバミソウ				○					II類		
ヤドリギ	マツグミ				○	○				準絶滅		
ツチトリモチ	ミヤマツチトリモチ				○	○		II類		準絶滅	希少	
タデ	ハルトラノオ		○		○	○				準絶滅		
	ノダイオウ				○			II類		準絶滅		
ヤマゴボウ	マルミノヤマゴボウ	○			○	○				II類		
ナデシコ	タガソデソウ				○			II類		準絶滅		
	ミヤマツメクサ					○					希少	
	オオビランジ				○	○		II類		II類	希少	
	タカネビランジ				○	○				II類		
	ビランジ				○					I B		
	シコタンハコベ				○	○		II類		準絶滅	希少	
マツブサ	サネカズラ		○	○	○					II類		
クスノキ	カゴノキ			○							絶滅	
	ヤブニッケイ				○						I A	
	シロダモ			○						情報		
	シロモジ			○							希少	
キンポウゲ	キタダケトリカブト					○		I B				
	キタザワブシ					○		II類		II類		
	ミチノクフクジュソウ				○			II類		準絶滅		
	フクジュソウ				○			II類		準絶滅	希少	
	ミスミソウ		○		○	○		準絶滅		I B	希少	
	キクザキイチゲ		○								希少	
	ツルシロカネソウ	○			○					I A		
	トウゴクサバノオ				○					I B		
ヒメカラマツ				○	○				II類	希少		
メギ	オオバメギ				○					準絶滅		
スイレン	ジュンサイ				○					準絶滅	希少	

表 2.2.14 (3) 注目すべき植物

科	種名	文献調査					注目根拠					備考
		N1	N2	N3	N4	N5	国 法令	国 RED	長野 法令	長野 RED	その他	
ウマノスズクサ	ウマノスズクサ				○					II類		
	ウスバサイシン					○					希少	
	ヒメカンアオイ		○	○	○					準絶滅		
ボタン	ヤマシャクヤク	○			○	○			II類	指定	II類	希少
	ベニバナヤマシャクヤク				○				I B	指定	I A	希少
ツバキ	ヒメシャラ				○	○					I A	
オトギリソウ	アカテンオトギリ					○					準絶滅	
ケシ	ナガミノツルキケマン					○			準絶滅		準絶滅	
アブラナ	エゾハタザオ	○				○						希少
	ミツバコンロンソウ					○					I A	
	クモマナズナ				○	○			II類		準絶滅	希少
	ミチバタガラシ					○					情報不足	
マンサク	キリシマミズキ				○				II類		II類	
	コウヤミズキ			○		○						希少
ベンケイソウ	アオベンケイ					○					I B	
	ツメレンゲ	○			○	○			準絶滅		準絶滅	希少
	マルバマンネングサ					○					I A	
ユキノシタ	キバナハナネコノメ			○	○				準絶滅		I A	希少
	ハナネコノメ				○						I A	
	チシマネコノメ	○										希少
	タチネコノメソウ			○	○	○					II類	
	ミカワチャルメルソウ		○	○		○						希少
	ヤシヤビシャク					○			II類		II類	希少
	ムカゴユキノシタ					○					I A	希少
	ジンジソウ		○		○	○					準絶滅	
	クモマグサ					○					I B	
バラ	チョウセンキンミズヒキ				○				II類		準絶滅	
	ハクロバイ					○			II類		I B	
	ウラジロキンバイ	○				○			II類		II類	希少
	リンボク			○	○						I B	
	ミヤマモミジイチゴ				○	○					準絶滅	
	コジキイチゴ	○			○	○					I B	
	タテヤマキンバイ				○	○					準絶滅	
マメ	モメンヅル	○			○						準絶滅	希少
	タヌキマメ				○					指定	I A	
	イヌハギ				○	○			II類		準絶滅	希少
	ミヤマタニワタシ	○			○	○					準絶滅	
	クサフジ					○						希少
カタバミ	オオヤマカタバミ				○	○			II類		準絶滅	
フウロソウ	イヨフウロ	○			○						I A	
	コフウロ	○			○						I B	
トウダイグサ	ニシキソウ				○					II類		
ユズリハ	ユズリハ		○	○	○	○					準絶滅	
ヒメハギ	ヒナノキンチャク				○				I B		I A	希少
カエデ	ハナノキ					○			II類		II類	
ニシキギ	イワウメヅル	○				○						希少
ツゲ	フッキソウ	○										希少
クロウメモドキ	ヨコグラノキ					○					I B	希少
	ミヤマクマヤナギ	○			○	○					準絶滅	
スマレ	ヒメミヤマスマレ					○					I B	
ミソハギ	ヒメミソハギ					○					情報	
	ミズキカシグサ					○			I B		情報	希少
	ミズマツバ					○			II類		II類	希少
アカバナ	トダイアカバナ					○			II類		II類	
	シロウマアカバナ				○						準絶滅	
セリ	イワニンジン					○					I A	
	ドクゼリ			○								希少
	ホソバハナウド	○				○			I B		I B	希少
	オオバチドメ				○						I B	
	ミヤマウイキョウ				○						I A	

表 2.2.14 (4) 注目すべき植物

科	種名	文献調査					注目根拠					備考
		N1	N2	N3	N4	N5	国 法令	国 RED	長野 法令	長野 RED	その他	
ツツジ	キョウマルシヤクナゲ				○			I B		準絶滅	希少	
	ダイセンミツバツツジ				○					準絶滅		
	アカヤシオ				○	○				準絶滅		
	シロヤシオ	○			○	○				I B		
ヤブコウジ	カラタチバナ				○					I A		
サクラソウ	クリンソウ		○								希少	
	クモイコザクラ					○		II類		I A	希少	
	サクラソウ				○			II類	指定	II類	希少	
	シナノコザクラ				○	○		II類	指定	I B	希少	
リンドウ	トウヤクリンドウ					○					希少	
	コヒナリンドウ				○	○		I B		I A	希少	
	オノエリンドウ				○			I B		準絶滅	希少	
	ホソバツルリンドウ	○			○			I B		準絶滅	希少	
ガガイモ	テングノコヅチ				○	○		I B		準絶滅		
	タチガシワ					○				I A		
	スズサイコ				○			II類		準絶滅	希少	
	コバナカモメヅル				○					I B		
	シロバナカモメヅル				○					II類		
ムラサキ	フタバムグラ				○				I A			
ムラサキ	サワリソウ	○			○	○			準絶滅			
クマツヅラ	カリガネソウ				○				準絶滅	希少		
シン	タチキランソウ		○	○	○	○			準絶滅	準絶滅	希少	
	フトボナギナタコウジュ				○					I B		
	マネキグサ				○			II類		II類	希少	
	ヤマジオウ		○		○	○				I B		
	キセワタ	○			○	○		II類		準絶滅	希少	
	ラショウモンカズラ					○					希少	
	ヤマジソ				○			II類		準絶滅	希少	
	アキチョウジ				○					II類		
	タカクマヒキオコシ				○	○				I B		
	イヌヤマハッカ			○	○					I B		
	ダンドタムラソウ				○					II類		注1
	ナス	アオホオズキ	○				○		II類		I A	希少
ハダカホオズキ						○				II類		
ゴマノハグサ	サワトウガラシ					○				II類		
	アブノメ			○						I A		
	ヒメコゴメグサ					○				I A		
	ウリクサ				○	○				II類		
	ツシマママコナ				○					準絶滅		
	スズメハコベ	○						I B		I A	希少	
	ハンカイシオガマ				○	○				I A		
	イヌノフグリ				○	○		II類		II類	希少	
キツネノマゴ	ハグロソウ				○				II類			
ハマウツボ	オオナンバンギセル				○					I B		
	オニク				○					準絶滅		
	ケヤマウツボ				○					I B	注1	
	ヤマウツボ					○				I B		
	キヨスミウツボ					○				I B	希少	
タヌキモ	イヌタヌキモ				○				準絶滅	希少		
スイカズラ	チシマヒョウタンボク					○		II類		I A	希少	
	コゴメヒョウタンボク				○			I B		準絶滅	希少	
	ニッコウヒョウタンボク					○				I B	希少	
	ヤマヒョウタンボク	○									希少	
	キバナウツギ				○					I B		
オミナエシ	ツルカノコソウ		○		○	○			I B			
キキョウ	イワシャジン	○	○	○	○	○				I A	希少	
	シデシャジン		○								希少	
	キキョウ			○	○			II類		準絶滅	希少	
キク	トダイハハコ	○			○	○		II類		準絶滅		
	ハハコヨモギ				○			II類		I B		

表 2.2.14 (5) 注目すべき植物

科	種名	文献調査					注目根拠					備考	
		N1	N2	N3	N4	N5	国 法令	国 RED	長野 法令	長野 RED	その他		
キク	タカネコンギク				○	○					準絶滅		
	テバコモミジガサ		○	○		○					準絶滅		
	パンジンガンクビソウ				○						I A		注 1
	ウラジロカガノアザミ				○						準絶滅		
	ヒダアザミ				○	○				II 類	I B		
	ワタムキアザミ		○		○					II 類	II 類	希少	
	イズハハコ			○						II 類	絶滅	希少	
	ワカサハマギク			○						II 類			
	アキノハハコグサ				○					I B	準絶滅	希少	
	ノニガナ	○										希少	
	カワラニガナ	○		○		○				II 類	II 類	希少	
	ムラサキニガナ				○						II 類		
	ミヤマヨメナ				○						II 類		
	オオニガナ				○					II 類	準絶滅		
	シュウブソウ				○						準絶滅		
	ヒメヒゴタイ				○					II 類	II 類	希少	
	コウリンカ				○					II 類	準絶滅	希少	
	タカネコウリンカ				○	○				準絶滅	準絶滅	希少	
	カントウタンポポ					○					I B		
オモダカ	サジオモダカ			○							I A		
	アギナシ			○						準絶滅	I B	希少	
	ウリカワ			○		○					II 類		
トチカガミ	ヤナギスブタ				○					準絶滅			
ヒツムシロ	ホソバミズヒキモ				○					準絶滅			
ユリ	ヒメニラ					○						希少	
	シライトソウ				○	○				指定	I A		
	カタクリ			○		○						希少	
	ヤマユリ		○	○	○	○				指定	準絶滅		
	ササユリ			○	○					指定	準絶滅		
	コヤブラン					○					情報		
	イワホトトギス			○	○						I B		注 1
	ホトトギス				○	○					準絶滅		
アヤメ	アマナ		○		○						I B	希少	
	ヒメシャガ	○								準絶滅	指定	II 類	希少
イグサ	カキツバタ				○					II 類	準絶滅	希少	
	エゾイトイ					○				I A	I A	希少	
	クモマスズメノヒエ					○				準絶滅		希少	
ホシクサ	ミヤマズメノヒエ					○					II 類		
	クロイヌノヒゲ				○						準絶滅		
イネ	ホシクサ					○					II 類		
	セトガヤ				○						I B		
	イワタケソウ					○					II 類		
	タカネウシノケグサ					○					I B		
	ヤマオオウシノケグサ					○				I A	I A	希少	
	アシカキ				○						準絶滅		
	アワガエリ	○									I A		
	チョウセンタチチゴツナギ				○						I B		注 1
	タカネタチチゴツナギ					○				I B	I B	希少	
	ミヤマチゴツナギ					○					I B		
	ヌメリグサ				○						準絶滅		
	フォーリーガヤ					○				I B	I B		
	ウシクサ	○									I B		
リシリカニツリ				○	○				II 類	準絶滅	希少		
キタダケカニツリ					○				I B	I A	希少		
サトイモ	ヒトツバテンナンショウ	○			○	○					II 類	希少	
	ウラシマソウ		○		○					指定	II 類		
ウキクサ	ヒンジモ	○							I B	I A	希少		
カヤツリグサ	タカネヤガミスゲ	○				○				準絶滅	準絶滅	希少	
	チャシバズゲ	○										希少	
	ヒナスゲ				○						II 類		

表 2.2.14 (6) 注目すべき植物

科	種名	文献調査					注目根拠					備考
		N1	N2	N3	N4	N5	国 法令	国 RED	長野 法令	長野 RED	その他	
カヤツリグサ	サナギスゲ	○									希少	
	ヤマアゼスゲ			○							希少	
	ノゲヌカスゲ				○	○			準絶滅			
	カラフトイワスゲ					○		I A		I A	希少	
	ゴンゲンスゲ				○				準絶滅			
	タカネナルコ					○		I B		I A	希少	
	オノエスゲ	○				○		II類		I B	希少	
	クダガヤツリ					○			準絶滅			
	ヒゲハリスゲ					○		II類		II類	希少	
	ハコネイトスゲ					○				I A		
ミセンアオスゲ					○				情報			
ラン	エビネ		○					II類		I A	希少	
	ホテイラン	○						I A	特別	I A	希少	
	ギンラン				○	○				準絶滅		
	キンラン				○			II類	特別	I B	希少	
	モイワラン				○					I A		注1
	タカネアオチドリ					○				I A	希少	
	コアツモリソウ					○		II類		I A	希少	
	クマガイソウ	○				○		II類	特別	I A	希少	
	アツモリソウ	○					特定国内	I B	特別	I A	希少	
	イチヨウラン				○	○				準絶滅	希少	
	セッコク	○								I A	希少	
	カキラン				○					準絶滅		
	ツチアケビ				○					II類		
	ベニシュスラン			○	○					I A	希少	
	ヒメミヤマウズラ	○		○	○	○				準絶滅		
	ミズトンボ			○	○			II類		準絶滅	希少	
	フガクスズムシ					○		I B		情報		注1
	アオフタバラン				○	○				II類	希少	
	ミヤマフタバラン				○	○				II類		
	タカネフタバラン					○				I B		
	ホザキイチヨウラン	○									希少	
	アリドオシラン					○					希少	
	ヒメムヨウラン					○		II類		II類	希少	
	ウチヨウラン					○		II類		I B	希少	
	ニョホウチドリ					○		I B		I B	希少	
	コケイラン				○	○				II類		
	ミズチドリ			○					指定	II類	希少	
	ツレサギソウ	○			○					I A	希少	
	オオバノトンボソウ				○					準絶滅		
	ミヤマチドリ					○				I B		
コバノトンボソウ				○					準絶滅			
カヤラン	○			○	○			指定	I A			
クモラン					○				I A			

備考：種名は、植物目録1987（1988年：環境庁自然保護局）に従いました。

：注目すべき種の根拠は表 2.2.5 参照。

注1：文献に記載されている種名をそのまま用いました。

出典：N1, 南信濃村史（昭和51年：南信濃村）

N2, 天龍村の植物（平成4年：天龍村教育委員会）

N3, 天龍村史（平成12年：天龍村）

N4, 長野県の絶滅のおそれのある野生生物 維管束植物編（平成14年度：長野県）

N5, 南信濃村植物誌「遠山に生きる植物たち」（平成17年：南信濃村教育委員会）

## 2) 動物

既存文献による調査区域の注目すべき動物の生息情報は、表 2.2.15 (1) ~ (3) に示すとおりであり、生息地が明らかなものについては、その生息地を図 2.2.11 に示します。

動物の主要な生息地として、南アルプスが挙げられます。

表 2.2.15 (1) 注目すべき動物

目	科	種名	文献調査						注目根拠									
			N1	N2	N3	N4	N5	N6	国 法令	国 RED	第1回	第2回	長野 法令	長野 RED	その他			
哺乳類	モグラ目	トガリネズミ科	アズミトガリネズミ	○											準絶滅			
			カワネズミ	○		○			○							準絶滅	希少	
			トガリネズミ						○							準絶滅		
	コウモリ目	モグラ科	ミスラモグラ	○	○											注1	希少	
			コキクガシラコウモリ	○	○											留意	希少	
		ヒナコウモリ科	キクガシラコウモリ	○												留意	希少	
			モモジロコウモリ	○	○				○							準絶滅	希少	
			ウサギコウモリ	○												準絶滅	希少	
			ニホンテングコウモリ						○							準絶滅		
	サル目	オナガザル科	ニホンザル	○	○	○											希少	
			リス科	ニホンリス	○	○	○											希少
		ヤマネ科	ホンドモモンガ	○	○	○			○						長天	準絶滅	希少	
			ムササビ	○	○	○											希少	
			ヤマネ	○						国天	準絶滅					準絶滅	希少	
	ネコ目	ネズミ科	ホンシュウカヤネズミ						○							II類		
	ウシ目	ウシ科	クマ科	ニホンツキノワグマ	○	○	○										個体群	
			イタチ科	オコジョ	○	○									長天	準絶滅	希少	
	鳥類	コウノトリ目	サギ科	ウシ科	ニホンカモシカ	○	○	○				特天						
ミゾゴイ																II種		
カモ目		カモ科	チュウサギ						○							準絶滅		
			オシドリ			○										個体群		
			マガモ			○										個体群		
			トモエガモ						○							IB		
タカ目		タカ科	ハチクマ						○			準絶滅				II類	希少	
			オオタカ		○				○	国内	II類					II類	希少	
			ハイタカ						○			準絶滅				II類	希少	
			ノスリ						○							準絶滅		
			クマタカ	○	○				○	国内	IB				指定	IB	希少	
			イヌワシ						○	国内 国内	IB				特別	IA	希少	
キジ目		ライチョウ科	ライチョウ	○	○					特天 国内	II類				指定	II類	希少	
			ヤマドリ		○												希少	
チドリ目		チドリ科	イカルチドリ			○			○							準絶滅	希少	
			コチドリ						○							準絶滅		
ハト目		ハト科	アオバト	○	○				○								準絶滅	
			コノハズク	○	○				○								II類	希少
	オオコノハズク		○					○								情報	希少	
	アオバズク		○					○								II類	希少	
	フクロウ		○					○								準絶滅	希少	
ヨタカ目	ヨタカ科	ヨタカ	○					○							II類	希少		
		ヤマセミ	○	○				○								準絶滅	希少	
ブッポウソウ目	カワセミ科	アカショウビン	○	○				○							II類	希少		
		ブッポウソウ科	ブッポウソウ	○	○				○					II類	希少			
キツツキ目	ヤイロチョウ科	ヤイロチョウ	○	○				○	国内 希少	IB				特別 長天 指定	IA	希少		
		サンショウクイ科	サンショウクイ	○	○				○		II類					II類	希少	
スズメ目	ツグミ科	マミジロ	○													準絶滅		
		カササギヒタキ科	サンコウチョウ	○		○			○							II類	希少	
		ホオジロ科	ミヤマホオジロ	○													希少	
		タカチホヘビ	○	○												情報		
トカゲ目	ヘビ科	シロマダラ	○													情報	希少	
		ヒバカリ	○													情報		
両生類	サンショウウオ目	サンショウウオ科	ヒダサンショウウオ	○	○				○							準絶滅	希少	
			ハコネサンショウウオ	○	○												希少	
			アカイシサンショウウオ	○					○						指定	IA	希少	
	カエル目	ヒキガエル科	アズマヒキガエル	○	○												希少	
			アカガエル科	ナガレタゴガエル	○	○											情報	希少
			トノサマガエル	○	○													希少
		ツチガエル			○		○								II類			

表 2.2.15 ( 2 ) 注目すべき動物

目	科	種名	文献調査						注目根拠									
			N1	N2	N3	N4	N5	N6	国 法令	国 RED	第1回	第2回	長野 法令	長野 RED	その他			
両生類	カエル目	アオガエル科	モリアオガエル	○	○	○						○		準絶滅	希少			
			カジカガエル	○	○										準絶滅	希少		
魚類	ウナギ目	ヤツメウナギ科	スナヤツメ		○									II類	希少			
			ウナギ科	ウナギ	○	○									野生			
	コイ目	コイ科	カワムツ	○											希少			
			下ジョウ科	シマドジョウ		○										希少		
	ナマズ目	アカザ科	アカザ	○	○								II類	準絶滅	希少			
	サケ目	アユ科	アユ	○	○	○									野生			
			サケ科	ヤマトイワナ	○	○	○									準絶滅	希少	
				ヤマメ			○									準絶滅		
				アマゴ	○	○	○									準絶滅	希少	
				ニッコウイワナ												準絶滅		
カサゴ目	カジカ科	カジカ	○	○	○								準絶滅	希少				
昆虫類	トンボ目	ムカシトンボ科	ムカシトンボ	○										II類				
			ヤンマ科	クロスジギンヤンマ	○										準絶滅			
	カワゲラ目	トワダカワゲラ科	ミネトワダカワゲラ	○											留意			
			ヒロムネカワゲラ科	ノギカワゲラ	○											留意		
	バッタ目	コオロギ科	ハマスズ	○											I類	希少		
			スズムシ科	スズムシ	○		○									個体群		
			バッタ科	アカイシコバネヒナバッタ	○												希少	
	カメムシ目	セミ科	テングオオヨコバイ	○												希少		
			カワラゴミムシ科	カワラゴミムシ	○										情報		留意	
	コウチュウ目	オサムシ科	イナオサムシ			○										注2		
リュウトウナガゴミムシ			○												II類			
スルガナゴミムシ															準絶滅			
マスモトオオナガゴミムシ															準絶滅	希少		
アシグロツヤゴモクムシ															準絶滅			
シデムシ科			ベッコウヒラタシデムシ													II類		
クワガタムシ科			ルリクワガタ	○												準絶滅		
			ヒメオオクワガタ	○												準絶滅		
			ミヤマツヤハダクワガタ													準絶滅		
センチコガネ科			オオセンチコガネ	○												準絶滅		
コガネムシ科			ゴホンダイコクコガネ	○													II類	
			ミヤマダイコクコガネ	○												準絶滅		
			オオチャイロハナムグリ	○												準絶滅	希少	
タマムシ科			アオタマムシ													準絶滅		
			アカヘリミドリタマムシ													I類		
			ヤマトタマムシ													II類		
コメツクムシ科			ミヤマヒサゴメツク	○												情報		
ホタル科			ヒメボタル	○												準絶滅		
デントウムシ科			ダイヤモンドウ	○												II類		
ハナノミ科			ヤクハナノミ	○												II類		
			カミキリムシ科	オトメクビアカハナカミキリ	○											II類		
トビケラ目			ナガレトビケラ科	オオナガレトビケラ	○											準絶滅		
				セセリチョウ科	ミヤマチャバネセセリ												II類	
	スジグロチャバネセセリ														準絶滅	希少		
チョウ目	セセリチョウ科	キマダラセセリ													準絶滅			
		チャマダラセセリ													I類	希少		
		ギフチョウ			○										II類	希少		
	シジミチョウ科	ヒサマツミドリシジミ			○										準絶滅			
		ベニモンカラスシジミ	○		○										準絶滅	希少		
		キマダラルリツバメ													準絶滅	II類		
		クロツバメシジミ	○												準絶滅	留意		
ミヤマシジミ													II類	準絶滅	希少			



表 2.2.15 (3) 注目すべき動物

目	科	種名	文献調査						注目根拠								
			N1	N2	N3	N4	N5	N6	国 法令	国 RED	第1回	第2回	長野 法令	長野 RED	その他		
昆虫類	チョウ目	シジミチョウ科	ウラナミアカシジミ						○							準絶滅	
			キリシマミドリシジミ						○							留意	
	タテハチョウ科	オオムラサキ	○												準絶滅	希少	
	ジャノメチョウ科	ベニヒカゲ	○												長天	留意	希少
		クモマベニヒカゲ	○												長天	留意	希少
		クロヒカゲモドキ						○								II類	
	ヒトリガ科	ヒメキシタヒトリ						○								準絶滅	
	ヤガ科	アズサキリガ			○											留意	
ウスイロキシタバ				○											準絶滅		
貝類	オキナエビス目	ゴマオカタニシ科	ベニゴマオカタニシ						○							I類	
			ゴマオカタニシ						○							II類	
	モノアラガイ目	モノアラガイ科	コシダカヒメモノアラガイ						○							I類	
マイマイ目	オナジマイマイ科	ミヤマヒダリマキマイマイ							○							II類	
	タワラガイ科	タワラガイ							○							準絶滅	
すぐれた自然・野生動物		南アルプス(注4)					○					○					

備考：(鳥類・昆虫類・貝類以外)

種名は「日本産野生生物目録－本邦産野生動物の種の現状－脊椎動物編」(平成5年：環境庁編)に従いました。

(鳥類)

種名は「日本鳥類目録 改訂第6版」(2000年：日本鳥学会編集)に従いました。

(昆虫類)

種名は「日本産昆虫総目録」(1989, 同追加・訂正1990：九州大学農学部昆虫学教室・日本野生生物研究センター)に従いました。

(貝類)

種名は「日本産野生生物目録－本邦産野生動物の種の現状－無脊椎動物編III」(平成10年：環境庁編)に従いました。

：注目すべき種の根拠は表 2.2.13 参照。

注1：亜種シナノミズラモグラ, 長野RED(準絶滅危惧種)

注2：長野RED, 個体群(交雑地域個体個体群：アオオサムシ×ミカワオサムシ)

注3：「南アルプス」は亜高山帯から高山帯に係る特殊な動物の生息地として選定されています。

出典：N1, 南信濃村動物誌－遠山郷に生きる動物たち－(平成10年：南信濃村教育委員会)

N2, 南信濃村史(昭和51年：南信濃村)

N3, 天龍村史(平成12年：天龍村)

N4, 第1回自然環境保全基礎調査「すぐれた自然図 長野県」(昭和51年：環境庁)

N5, 第2回自然環境保全基礎調査「長野県 動物分布図」(昭和56年：環境庁)

N6, 長野県の絶滅のおそれのある野生生物 動物編(平成16年度：長野県)

#### (4) 生態系の状況

生態系の把握にあたり、次の手順により既往資料を整理しました。生態系の把握においては広い範囲の検討が必要であることから、調査区域及びその周辺についても状況を整理しました。

<生態系の状況を把握する手順>

##### 1) 地域の自然環境のまとめ

自然環境特性のまとめと類型区分

動植物の分布の概要と食物網

##### 2) 地域を特徴づける生態系の区分と注目すべき動植物の設定

#### 1) 地域の自然環境のまとめ

自然環境特性のまとめと類型区分

地域の自然環境の要素として、前述の地形分類、表層地質、土壌、現存植生、主要な植物および群落、主要な動物および群集のほか、標高、傾斜角、気温、年降水量、積雪深について地域の状況を把握しました(図2.2.12(1)~(3))。

これらの自然環境の要素を踏まえ、生物の生息基盤である自然環境の特性を類型区分毎に整理した結果を図2.2.13と表2.2.16に示します。

調査区域の自然環境について次の10区分に類型化しました。

- (1) 遠山川の河畔
- (2) 梶谷川の河畔
- (3) 八重河内川の河畔
- (4) 小嵐川の溪谷
- (5) 小嵐川の源流部西側
- (6) 小嵐川の源流部東側
- (7) 山地部長野側
- (8) 赤石山脈の尾根部長野側
- (9) 熊伏山の山頂(県境)
- (10) 熊伏山~観音山の尾根部(県境)

表2.2.16 自然環境特性の類型区分とその特性

自然環境特性の項目	行政区分	地形的位置	地形的要素	地形			気候			地質 表層地質	土壌 土壌分類	植物			動物 群主要な動物および	類型区分の特性の概要	
				標高	傾斜角度(最大)	地形分類	(気温(年平均))	(積雪深(年最多))	年降水量			現存植生	群主要な植物および	動物群主要な動物および			
自然環境特性の状況	長野県	(長野県側) 溪谷下流域	遠山川	600m以下	37度以上	大起伏山地	12以上	50cm以下	2100mm以下	花崗岩質岩石(深成岩)	湿性褐色森林土壌	コナラ群落(ヤブツバキクラス域)	水田雑草群落	アラカシ群落	モリアオガエル	遠山川河畔は、ヤブツバキクラス域のコナラ群落が広い面積を占めることが特徴的な、概ね標高600m以下の区域である。年平均気温が最も高い区域のひとつであり、年最多積雪深および年降水量は両者とも最も低い区域のひとつとなっている。	
			梶谷川	800m以下				2200mm以下	砂岩(固結堆積物)	泥岩(固結堆積物)	燧地雑草群落	カラマツ植林				梶谷川河畔は、表層地質が砂岩であり、ブナクラス域広葉樹林とスギ・ヒノキ・サワラ植林が混在し、畑地雑草群落が存在することが特徴的な、概ね標高800m以下の区域である。八重河内山里耕作地と同様に年平均気温がやや低く、年最多積雪深が浅く、年降水量はやや多い。	
			八重河内川	600m以下	30~45度	地すべり地	10~12		2100~2200mm			褐色低地土壌	灰色低地土壌	スギ・ヒノキ・サワラ植林	水田雑草群落		八重河内川に梶谷川が合流する区域は、灰色低地土壌と褐色低地土壌が広い面積を占め、ブナクラス域広葉樹林、スギ・ヒノキ・サワラ植林が混在し、比較的に広い水田雑草群落、畑地雑草群落が存在することが特徴的な、概ね標高600m以下の区域である。東側斜面に地すべり地が、西側斜面には八重河内西山の断崖・岩壁があり、年平均気温がやや低く、年最多積雪深が浅く、年降水量はやや多い。
	長野県	(長野県側) 溪谷上流域	小嵐川	600m~1000m		大起伏山地		80cm以下	2200~2300mm	圧砕岩質岩石	湿性褐色森林土壌					小嵐川河畔は、湿性褐色森林土壌が河川沿いにあり、ブナクラス域広葉樹林、スギ・ヒノキ・サワラ植林が混在することが特徴的な、概ね標高600m~1000mの区域である。八重河内山里耕作地と同様に年平均気温がやや低いが、年最多積雪深は深く、年降水量は長野側では最も多い。	
			小嵐川源流部(西側)	800m~1300m	40度以上	崩壊地形			2100~2200mm	変成岩	礫層・砂層	広葉樹林(ブナクラス域)				小嵐川の源流域は、残積性未熟土壌が広い面積を占め、ブナクラス域広葉樹林が優占することが特徴的な、概ね標高800m~1300mの区域である。西側斜面には崩壊地形があり、礫層・砂礫の土壌がある。八重河内山里耕作地と同様に年平均気温がやや低く、年降水量も低いが、年最多積雪深は深い。	
			小嵐川源流部(東側)				8~10		2200mm以下			残積性未熟土壌				小嵐川の源流域は、残積性未熟土壌が広い面積を占め、ブナクラス域広葉樹林が優占することが特徴的な、概ね標高800m~1300mの区域である。東側斜面は、年平均気温が最も低い区域のひとつであり、年降水量および年最多積雪深は西側斜面と同程度である。	
	静岡県との県境	山頂	山地	600m~1000m	35~40度	大起伏山地	10~12	50cm以下	2100mm以下	花崗岩質岩石(深成岩)	湿性~乾性の褐色森林土各種	スギ・ヒノキ・サワラ植林				河畔以外の山地部のうち、長野県側の標高600m~1000mの区域は、湿性~乾性の褐色森林土壌が混在し、ブナクラス域広葉樹林、スギ・ヒノキ・サワラ植林が混在することが特徴的な区域である。年平均気温がやや低く、年最多積雪深がやや深い、年降水量が最も低い区間のひとつとなっている。	
			尾根部	赤石山脈	1000m~1500m	40度以上		8~10	2000~2300mm	砂岩(固結堆積物)	泥岩(固結堆積物)	亜高山帯自然植生	カラマツ植林	亜高山帯から高山帯の各種群落	赤石山脈の自然植生	すぐれた自然(南アルプス)	赤石山脈尾根部(長野県側)の標高1000~1500mの区域は、湿性~乾性の褐色森林土壌と乾性ポドソル化土壌が混在し、ブナクラス域広葉樹林とカラマツ植林が混在する中に亜高山帯自然植生が点在することが特徴的な区域である。年平均気温が最も低い区域のひとつであり、年最多積雪深がやや深く、年降水量は調査区域内で中程度である。
			山頂	熊伏山	1500m以上	30~37度			80cm以上		花崗岩質岩石(深成岩)	乾性ポドソル化土壌	ブナクラス域自然植生	スズタケ・ブナ群団	熊伏山のミヤマツチトリモチ		県境を跨ぐ熊伏山山頂の標高1500m以上の区域は、乾性ポドソル化土壌が優占し、ブナクラス域広葉樹林とブナクラス域自然植生が混在することが特徴的な区域である。年平均気温が最も低い区域のひとつであり、年最多積雪深が最も深く、年降水量は調査区域内で中程度である。
			尾根部	熊伏山~観音山	1000m~1500m	40度以下	崩壊地形		80cm以下		花崗岩質岩石(深成岩)	湿性~乾性の褐色森林土各種	広葉樹林(ブナクラス域)				熊伏山から観音山にかけての県境を跨ぐ尾根部の標高1000~1500mの区域は、褐色森林土壌であるが湿性ではなく、ブナクラス域広葉樹林が優占することが特徴的な区域である。年平均気温が最も低い区域のひとつであり、年最多積雪深が深く、年降水量は調査区域内で中程度である。

出典) 行政区分、地形的位置、地形的要素、標高:地形図(国土地理院)  
 傾斜角度(最大):国土数値情報G04-56M-20-01(長野 標高傾斜 昭和56年),G04-56M-22-01(静岡 標高傾斜 昭和56年)  
 地形分類:土地分類図(地形分類図)  
 気温(年平均)、積雪深(年最多)、年降水量:国土数値情報G02-62M-20-01(長野 気候 昭和62年),G02-62M-22-01(静岡 気候 昭和62年)  
 注) 着色は、各類型区分の特徴を示すものについて類似した色で着色した。

土壌:土地分類図(土壌図)  
 植生:現存植生図(環境庁)  
 主要な植物および群落:すぐれた自然図(環境庁)、動植物分布図(環境庁)、自然環境情報図(環境庁)  
 主要な動物および群集:すぐれた自然図(環境庁)、動植物分布図(環境庁)

#### 動植物の分布の概要と食物網

前述の自然環境の類型区分を基に、調査区域に生息又は生育が想定される動植物を表2.2.17に記載します。これら動植物の地理的分布の模式図を図2.2.14に、また食物網の模式図を図2.2.15に示します。

表 2. 2. 1 7 自然環境の類型区分と生息・生育が想定される動植物

自然環境の類型区分	植生の状況		周辺で生育・生息が想定される動植物相					
	植生帯	主要な植生	哺乳類	鳥類	両生・は虫類	魚 類	昆虫類	植物
遠山川の河畔	河辺植生	ヨシクラス カワラヨモギ群落	ニホンザル、ニホンイタチ、カワネズミ、ニホンイノシシ	コゲラ、ヒヨドリ、ミソサザイ、ノビタキ、ホオジロ、アトリ、アオサギ、オシドリ、キセキレイ、カワガラス、ドバト、カワセミ	イモリ、アマガエル、トノサマガエル、トカゲ、シマヘビ、カジカガエル、ヤマカガシ、タゴガエル、ナガレタゴガエル	スナヤツメ、アブラハヤ、ウグイ、カマツカ、ドジョウ、シマドジョウ、アカザ、アユ、ヤマメ、アマゴ、ヤマトイワナ、ニジマス、カジカ、ヨシノボリ類	キイロヒラタカゲロウ、フタスジモンカゲロウ、オニヤンマ、シオカラトンボ、アキアカネ、カワラスズ、エンマコオロギ、クサキリ、ツチイナゴ、ミンミンゼミ、ツマジロカメムシ、ヒメツノカメムシ、カメノコテントウ、クルミハムシ、アオスジアゲハ、オオムラサキ、ベニモンカラスシジミ	エノキ、スギナ、ミゾソバ、ノイバラ、ツリフネソウ、コバノクロウメモドキ、アケボノソウ、ヒメシロネ、ヘラオモダカ、ヒルムシロ、コブナグサ、ササガヤ、ヨシ、ガマ
	ヤブツバキクラス域代償植生	コナラ群落 アカマツ群落	ニホンザル、ニホンリス、ホンドモモンガ、アカネズミ、ニホンツキノワグマ、ホンドテン、ニホンイタチ、ハクビシン、ニホンカモシカ、ヒミズ、ノウサギ、ホンドキツネ、ホンドタヌキ、ニホンイノシシ	キジバト、ホトトギス、アカゲラ、コゲラ、ミソサザイ、ヤブサメ、ウグイス、エナガ、コガラ、ヒガラ、ヤマガラ、シジュウカラ、ゴジュウカラ、メジロ、ホオジロ、イカル、ルリビタキ	カナヘビ、タカチホヘビ、アズマヒキガエル、ヤマアカガエル、モリアオガエル	キイロヒラタカゲロウ、フタスジモンカゲロウ、カワトンボ、アキアカネ、ヒグラシ、オオトラカミキリ、ヒメキマダラヒカゲ、キマダラカミキリ、ウスバカミキリ、オオスズメバチ、コキマダラセセリ、ヒメカマキリ、エンマコオロギ、ヒメツノカメムシ、ミヤマカミキリ、ムラサキトビケラ、クロツバメシジミ	フユノハナワラビ、ヒメシダ、イヌワラビ、モミ、アカマツ、ツガ、ヒノキ、アカシデ、イヌシデ、クリ、ブナ、イヌブナ、ミズナラ、コナラ、ケヤキ、アラカシ、シラカシ、ウラジロガシ、ヤブツバキ、シナノオトギリ、ツメレンゲ、キリンソウ、チダケサシ、ノリウツギ、イワガラミ、カスミザクラ、ノイバラ、ムラサキツメクサ、イロハモミジ、オオモミジ、ウリハダカエデ、リョウブ、トウゴクミツバツツジ、ヤブコウジ、ムラサキシキブ、ミヤマガマズミ、ミヤマカンスゲ、シュンラン	
	ヤブツバキクラス域自然植生	ケヤキ群落 アラカシ群落 モミーシキミ群集						
赤石山脈の尾根部長野側	亜寒帯、 亜高山帯植生  ブナクラス域 代償植生	コメツガ群落  クリーミズナラ群落 カスミザクラコナラ群落	ニホンザル、アズミトガリネズミ、ヤマネ、アカネズミ、ヒメネズミ、ホンドキツネ、ホンドオコジョ、ニホンカモシカ、ニホンイノシシ	クマタカ、アマツバメ、コマドリ、コルリ、ルリビタキ、マミジロ、メボソムシクイ、キクイダタキ、サメビタキ	ハコネサンショウウオ、ジムグリ		シナノマルトゲムシ、ミヤマヒサゴコメツキ、タカネツトガ、クモバベニヒカゲ、ホッキョクモンヤガ、アルプスヤガ、ウルマーシマトビケラ	シラネワラビ、ウラジロモミ、シラビソ、トウヒ、ヒメコマツ、コメツガ、ダケカンバ、ブナ、アサノハカエデ、トウゴクミツバツツジ、マイヅルソウ、タケシマラン
熊伏山の山頂（県境）	ブナクラス域 自然植生	ヤマボウシブナ群集 スズタケブナ群団 ヤナギ高木林 ツガーコカンスゲ群集	ニホンザル、ニホンリス、アカネズミ、ヒメネズミ、ニホンツキノワグマ、ホンドテン、ハクビシン、ニホンカモシカ、ヒミズ、ノウサギ、ホンドキツネ、ホンドタヌキ、ニホンイノシシ	オオタカ、フクロウ、キジバト、ホトトギス、アオゲラ、アカゲラ、コゲラ、ヤブサメ、ウグイス、エナガ、コガラ、ヒガラ、ヤマガラ、ゴジュウカラ、メジロ、ホオジロ、イカル、ミソサザイ、オオルリ、ルリビタキ	カナヘビ、タカチホヘビ、アズマヒキガエル、ヤマアカガエル、モリアオガエル、タゴガエル、ナガレタゴガエル	ヤマトイワナ (森林の細流)	ムカシトンボ、カワトンボ、アキアカネ、ヒグラシ、オオトラカミキリ、ヒメキマダラヒカゲ、キマダラカミキリ、ウスバカミキリ、オオスズメバチ、コキマダラセセリ、ヒメカマキリ、エンマコオロギ、ヒメツノカメムシ、ミヤマカミキリ、ムラサキトビケラ、オオナガレトビケラ、ウルマーシマトビケラ、クロツバメシジミ、ベニモンカラスシジミ	フユノハナワラビ、ヒメシダ、イヌワラビ、モミ、アカマツ、ツガ、ヒノキ、アカシデ、イヌシデ、クリ、ブナ、イヌブナ、ミズナラ、コナラ、ケヤキ、アラカシ、シラカシ、ウラジロガシ、ヤブツバキ、シナノオトギリ、ツメレンゲ、キリンソウ、チダケサシ、ノリウツギ、イワガラミ、カスミザクラ、ノイバラ、ムラサキツメクサ、イロハモミジ、オオモミジ、ウリハダカエデ、コバノクロウメモドキ、リョウブ、トウゴクミツバツツジ、ヤブコウジ、ムラサキシキブ、ミヤマガマズミ、ミヤマカンスゲ、シュンラン、ツルカノコソウ、コウフロ、カヤラン、イワタバコ、イワシャジン
熊伏山～観音山の尾根部（県境） 小嵐川源流部（西側） 小嵐川源流部（東側）	ブナクラス域 代償植生	クリーミズナラ群落 カスミザクラコナラ群落 アカマツ群落 ニシキウツギーノリウツギ群落						
小嵐川の溪谷 八重河内川河畔 梶谷川河畔 山地部長野側	植林地・耕作 地植生、その他	スギ・ヒノキ・サワラ植林 カラマツ植林 アカマツ植林 落葉針葉樹植林  水田雑草群落 畑地雑草群落	ニホンザル、ホンドテン、ニホンイタチ、ハクビシン、ニホンイノシシ、ノウサギ、モグラ類、ニホンリス、ホンドモモンガ、ホンドキツネ、ホンドタヌキ	オオタカ、トビ、キジ、キジバト、ツバメ、イワツバメ、セグロセキレイ、ヒヨドリ、モズ、ジョウビタキ、ノビタキ、ホオジロ、カシラダカ、アトリ、アオサギ、キセキレイ、カワガラス、カワセミ、カワラヒワ、シメ、スズメ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ヤマガラ、シジュウカラ、ベニマシコ、カケス	アマガエル、トカゲ、カナヘビ、ヤマカガシ、モリアオガエル、タゴガエル、ナガレタゴガエル	ヤマトイワナ、アマゴ（森林の細流）、カジカ	キイロヒラタカゲロウ、フタスジモンカゲロウ、ヘビトンボ、カワトンボ、アキアカネ、ヒグラシ、オオトラカミキリ、ヒメキマダラヒカゲ、キマダラカミキリ、ウスバカミキリ、オオスズメバチ、コキマダラセセリ、ヒメカマキリ、エンマコオロギ、ヒメツノカメムシ、ミヤマカミキリ、ムラサキトビケラ、スギタニルリシジミ	イヌワラビ、モミ、カラマツ、アカマツ、スギ、ヒノキ、サワラ、シラカンバ、ブナ、イヌブナ、ミズナラ、コナラ、カナムグラ、イヌタデ、エゾノギシギシ、ダンコウバイ、キツネノボタン、アケビ、ウラミズザクラ、モモ、カスミザクラ、ムラサキツメクサ、フジ、エノキグサ、ウリハダカエデ、ニシキギ、コマユミ、ヤマブドウ、ウド、タラノキ、ホタルサイコ、ヤマツツジ、ミゾカクシ、ナンブアザミ、ノハラアザミ、ヒメムカシヨモギ、ノボロギク、オヤマボクチ、サルトリイバラ、ツユクサ、スズメノテッポウ、スズメノチャヒキ、ヌカキビ、チカラシバ、エノコログサ、カラスビシャク、アゼガヤツリ

注) アンダーラインは、特にその自然環境類型の特徴を示すと考えられる種（選定理由は表2.2.18を参照）

## 2) 地域を特徴づける生態系の区分と注目すべき動植物の設定

想定される動植物の分布状況を踏まえ、自然環境の類型区分に基づき、地域を特徴づける生態系の区分を検討しました。

生態系の区分においては、調査区域の生物群集の食物網等の関係性を踏まえて、「上位性」「典型性」「特殊性」の観点から注目すべき動植物を抽出し、この注目すべき動植物に代表されるひとつのまとまりと考えられる区域を生態系区分として設定しました。

### < 注目すべき動植物の抽出の観点 >

- ・上位性：地域を特徴づける生態系の上位に位置する性質をいいます。上位性の視点から抽出される注目種・群集の例として、ワシ・タカなどの猛禽類や、ホンドキツネ、ニホンツキノワグマ等の中・大型哺乳類の動物等があげられます。
- ・典型性：地域を特徴づける生態系の特徴を典型的に表す性質をいいます。対象地域に優占する植物種又は植物群落、それらを捕食する動物（一次消費者程度）、個体数が多い動物（哺乳類、鳥類、両生類、は虫類、昆虫類、魚類等）などがあまります。
- ・特殊性：地域を特徴づける生態系において特殊な環境であることを示す指標となる性質をいいます。相対的に分布範囲が狭い環境又は質的に特殊な環境に生息・生育する動植物種などがあまります。

設定した生態系の区分を図 2. 2. 1 6 に、注目すべき動植物を表 2. 2. 1 8 に示します。調査区域の生態系区分は次の7区分に設定しました。

- (1) 山地の広葉樹林
- (2) 赤石山脈の尾根部長野側
- (3) 熊伏山の自然林
- (4) 青崩峠の北部山麓
- (5) 小嵐川の渓谷
- (6) 長野側の河畔
- (7) 植林山地

表2. 2. 18 地域を特徴づける生態系に係る注目すべき動植物の抽出

地域を特徴づける生態系		注目すべき分布地(想定)							選定理由
類別	生態系区分 注目すべき動植物	山地の 広葉樹林	長野側 の尾根部	赤石山脈 の自然林	青崩峠 の北部山麓	小嵐川 の溪谷	長野側 の河畔	植林地	
上位性	ワシ・タカ類	○	○	○	○	○	○	○	調査区域全域における山地から里地の食物連鎖の上位種
	ホンドキツネ	○	○	○	○	○	○	○	調査区域全域における山地から里地の食物連鎖の上位種
	ホンドオコジョ	+	+	○	+	+	+		熊伏山高山自然林を中心とする山地・森林の食物連鎖の上位種
	ホンドテン	○	○	○	○	○	+	+	渓谷上流域から標高の高い山地帯を中心とする山地・森林の食物連鎖の上位種
	ニホンイタチ				+	+	○	+	渓谷下流域を中心とする里地・水辺の食物連鎖の上位種
	フクロウ類	+	+		+	○	○	+	渓谷の広葉樹山林の食物連鎖の上位種
	渓谷・河畔の鳥類群集 (キセキレイ、カワガラス、アオサギ、カワセミ等)				○	○	○		渓谷部を中心とする溪流・河畔の水辺生態系の食物連鎖の上位種。 現地調査で確認された種に基づき選定する。
典型性	樹上性・樹洞性小型哺乳類 (ホンドモモンガ、ニホンリス等)	○	○	○	○	○	○	○	調査区域全域における樹洞のある大木が多い豊かな森林の指標
	地上性小型哺乳類 (ヒメネズミ、アカネズミ等)	○	○	○	○	○	○	○	調査区域全域における小型哺乳類の生物量の指標
	山地・山里の鳥類群集 (ホオジロ、ヒヨドリ、シジュウカラ、ヤマガラ、オオルリ等)	○	○	○	○	○	○	○	調査区域全域における山地の典型的な鳥類相について、現地調査結果に基づき注目種を選定する。
	タゴガエル	○	○	○	○	○	○	○	調査区域全域における山地と溪流の適切な組み合わせの指標
	モリアオガエル	○	○	○	○	○	○	○	調査区域全域における山地と池沼の適切な組み合わせの指標
	アマゴ				○	○	○	+	渓谷部を中心とする遊泳魚の代表
	カジカ				+	+	○	+	渓谷下流域を中心とする底生魚の代表
	ムカシトンボ				○	○	○		渓谷部を中心とするきれいな溪流の指標
	ベニモンカラスシジミ				+	○	○		渓谷の水辺植生(クロウメドキ等)が成立する環境の指標
	造巣性水生昆虫類相 (ウルマーシマトビケラ等)	○	○	○	○	○	+	+	渓谷上流域から標高の高い山地帯を中心とする急流域の水生昆虫類の現地確認結果に基づき、溪流・河川の生態系の現況を把握する。
	徘徊性水生昆虫類相 (キイロヒラタカゲロウ、フタスジモンカゲロウ等)	+	+	+	○	○	○	+	渓谷部を中心とする緩流域に生息する水生昆虫類の現地確認結果に基づき、溪流・河川の生態系の現況を把握する。
	大型水生昆虫類 (オオナガレトビケラ、ヘビトンボ、オニヤンマ等)	+	+	+	○	○	+	+	渓谷部を中心とする水生昆虫類の生物量の指標。 現地調査で確認された種に基づき選定する。
	湿潤な林床に生育する植物 (シダ類、ツルカノコソウ、コウフロ等)				+	○	○		渓谷部を中心とする地下水位の変化の指標
	樹幹に着生する植物 (カヤラン等)				+	○	○		渓谷部を中心とする湿潤な広葉樹林の指標
	湿潤な岩壁に生育する植物 (イワタバコ、イワシャジン等)				+	○	○		渓谷部を中心とする地下水位の変化の指標
	針葉樹・広葉樹混交林 (クリーミズナラ群落とスギ・ヒノキ・サワラ植林の混交林)				+	○	○		渓谷における広い面積を占める特徴的な植物群落
	広葉樹林(ブナクラス域)	○	○		○				標高の高い山地広葉樹林における広い面積を占める特徴的な植物群落
ブナクラス域自然植生			○					熊伏山高山自然林における広い面積を占める特徴的な植物群落	
特殊性	ニホンザル	○	○	○	○	○	○	○	農作物に係る害獣として特に注目する。
	ニホンイノシシ	○	○	○	○	○	○	○	農作物に係る害獣として特に注目する。
	亜高山自然植生	○	○						標高の高い山地の広葉樹林における特異な分布をしている植物群落
	クロットバメシジミ						○		低山の岩壁における特殊な環境(ツメレンゲ等の分布)が成立する環境の指標
	ナガレタゴガエル					+	○		山地と溪流の特殊な組み合わせの指標

注)○は主要な分布地と想定される生態系区分を示します。  
 +は主要な分布地ではないが生息可能性のある生態系区分を示し、  
 生息が確認された場合には注目種として取り扱うことを示します。

## 5. 景観・文化財の状況

### (1) 主要な景観資源

調査区域は、西を伊那山脈、東を赤石山脈（南アルプス）に挟まれ、区域の大半は山地・山林です。また、集落や耕地が、河川沿いの谷底低地に若干形成されています。

主要な景観資源の分布及び概況として、調査区域の主な景観資源を表 2.2.18、図 2.2.17 に示します。

調査区域には断崖、溪谷、滝などの自然景観資源が多数存在します。

表 2.2.18 主要な景観資源

種類	番号	名称	概況	出典			
山地景観	1	熊伏山稜線	領家帯の花崗岩、片麻岩からなる山稜	ア			
	1	白岩（八重河内）	比高150m、延長200mの石灰岩の岩峰				
特殊地学景観・節理 <sup>注1)</sup>	1	ヒョー越	第3紀層を貫く石英安山岩岩脈	ア			
河川景観	1	梶谷溪谷	延長5km、幅300mの溪谷	ア			
	1	八重河内西山	比高840m、延長1,700mの圧砕岩、ホルンヘルズからなる断崖	ア			
					1	信玄滝	落差25m、滝口幅3mの多段の滝
					2	ヌタ沢大滝	落差50m、滝口幅2mの一文字の滝

出典：ア\_第3回自然環境保全基礎調査「自然環境情報図長野県」（平成元年：環境庁）

注1) 節理とは、岩石、特に火成岩や、岩盤に見られるやや規則的な割れ目です。マグマが冷却固結した結果生じたもので、板状・柱状・球状などの種類があります。節理は地質学の分野ではきわめて重要であり、密集した節理群はトンネルなどの掘削に大きく影響します。

### (2) 主要な眺望点

調査区域における主要な眺望点を、表 2.2.19、図 2.2.17 に示します。

表 2.2.19 主要な眺望点

番号	名称	概況	出典
1	青崩峠	長野県側、静岡県側ともに展望が良く、中央構造線が形作った深く雄大な谷筋が望める。標高1,082m	ア

出典：ア\_水と緑と伝承のアドベンチャーワールドみさくぼ（浜松市水窪総合事務所観光パンフレット）



(3) 史跡及び文化財等

調査区域には、「文化財保護法」(昭和25年：法律第214号)、県及び各市村の条例により指定された文化財が存在します。指定状況及び位置を表 2.2.20 (1)、(2)、図 2.2.18 に再掲します。なお、埋蔵文化財包蔵地は、飯田市南信濃及び下伊那郡天龍村にはありません。

表 2.2.20 (1) 史跡・名勝・天然記念物の指定状況

所在	指定	種別	番号	名称	指定年月日	
長野県	飯田市南信濃	国	重要無形民俗文化財	1	遠山の霜月祭 (諏訪神社)	S 54.2.3
長野県	飯田市南信濃		重要無形民俗文化財	2	遠山の霜月祭 (正八幡神社)	
長野県	飯田市南信濃		重要無形民俗文化財	3	遠山の霜月祭 (遠山天満宮)	
長野県	飯田市南信濃	市	有形文化財	1	梁木島番所跡	S 63.6.1
長野県	飯田市南信濃		史跡	2	青崩峠	H 11.12.22

出典：長野県文化財目録(平成15年：長野県教育委員会)  
：各市村教育委員会資料

表 2.2.20 (2) 地域を定めず指定された文化財

所在	指定	種別	名称	指定年月日		
長野県	長野県	国	無形民俗文化財	下伊那のかけ踊	H 11.12.3	
				正月行事	S 29.11	
				年齢階梯制	S 29.11	
				中馬制	S 29.11	
				長野県下の代表的民家の間取・使い方	S 36.3	
				信濃の火鑽習俗	S 52.6.1	
				盆行事	S 52.6.1	
		飯田市南信濃 下伊那郡天龍村	県	無形民俗文化財	南信州の柚餅子	H 12.3.15
		飯田市南信濃			遠山郷の二度芋の味噌田楽	H 14.3.14
		長野県			味の文化財 手打ちソバ、焼き餅、御幣餅、スンキ漬、野沢菜漬	S 58.7.13
		飯田市南信濃	市	無形民俗文化財	此田神楽	H 11.12.22
		全国	国	特別天然記念物	カモシカ	S 30.2.15
				ライチョウ		
				天然記念物	柴犬	S 11.12.16
					ヤマネ	S 50.6.26
				イヌワシ	S 40.5.12	
		長野県	県	天然記念物	オオイチモンジ	S 50.2.24
					クモマツマキチョウ	
					クモマベニヒカゲ	
					コヒオドシ	
	タカネキマダラセセリ					
	タカネヒカゲ					
	ベニヒカゲ					
	ミヤマシロチョウ					
	ミヤマモンキチョウ					
	ヤリガタケシジミ					
	ホンシュウモモンガ				S 50.11.4	
	ホンドオコジョ					
	ブッポウソウ				S 60.7.29	
	ヤツガシラ					

出典：長野県文化財目録(平成15年：長野県教育委員会)  
：各市村教育委員会資料

## 6. 触れ合い活動の場の状況

調査区域における主要な野外レクリエーション地（人と自然との触れ合いの活動の場等）を、表 2.2.21、図 2.2.19 に示します。

調査区域には、山間部特有の登山道や遊歩道などがあり、自然と触れ合う環境が広域に存在します。

表 2.2.21 主要な人と自然との触れ合いの活動の場一覧

名称	概況	出典
遊歩道（青崩峠～ヒョー越） 熊伏山登山道	青崩峠とヒョー越峠を結ぶ遊歩道 小嵐川上流～青崩峠～観音山分岐点～熊伏山の全長3km弱、標高差約700mの登山道	ア
塩の道	（ヒアリング結果）	ー
農業体験	（ヒアリング結果）	
溪流釣り	（ヒアリング結果）	
遠山の霜月祭（諏訪神社）	国指定文化財＜重要無形民俗文化財＞ 所在：飯田市南信濃	イ
遠山の霜月祭（正八幡神社）	国指定文化財＜重要無形民俗文化財＞ 所在：飯田市南信濃	
遠山の霜月祭（遠山天満宮）	国指定文化財＜重要無形民俗文化財＞ 所在：飯田市南信濃	
此田神楽	飯田市指定文化財＜無形民俗文化財＞所在：飯田市南信濃	ウ
梁木島番所跡	飯田市指定文化財＜有形文化財＞ 所在：飯田市南信濃	
青崩峠	飯田市指定文化財、＜史跡＞ 所在：県境	ウ

出典：ア\_\_熊伏山登山案内図（南信濃村商工観光課資料）

イ\_\_長野県文化財目録（平成15年：長野県教育委員会）

ウ\_\_各市村教育委員会資料

## 7. 大気質・水質等の状況

### (1) 大気質

環境基準等の達成状況を監視するために、長野県では、一般環境大気測定局18局及び道路周辺大気測定局（自動車排出ガス測定局）6局において、大気質の測定が行われています。

なお、調査区域には、測定局は配置されていません。

参考に、調査区域に最も近い飯田合同庁舎(飯田市)における測定結果を表2.2.22に、測定位置を図2.2.20に示します。

各項目とも低濃度で安定しており、「平成16年版環境白書」（平成17年：長野県）によると、飯田合同庁舎における平成11～15年度の大気汚染に係る環境基準の達成状況は、平成12年度と15年度の二酸化硫黄を除き、二酸化硫黄、二酸化窒素、浮遊粒子状物質について環境基準を達成しています。光化学オキシダントについては平成12年度の環境基準超過日数が86日ありましたが、その後の超過日数は減少傾向にあります。

表 2.2.22 大気質の経年変化（飯田合同庁舎）

測定物質 \ 年度	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年
二酸化硫黄	0.004	0.005	0.005	0.005	0.007
浮遊粒子状物質	0.021	0.020	0.015	0.015	0.013
二酸化窒素	0.013	0.013	0.011	0.013	0.011
光化学オキシダント	0.028	0.028	0.028	0.028	0.029

注)：二酸化硫黄：年平均値 [単位：ppm]

：浮遊粒子状物質：年平均値 [単位：mg/m<sup>3</sup>]

：二酸化窒素：年平均値 [単位：ppm]

：光化学オキシダント：昼間の1時間値の年平均値 [単位：ppm]

出典：平成16年版日本の大気汚染状況（平成17年：環境省環境管理局）

：平成16年版環境白書（平成17年：長野県）

## ( 2 ) 騒音

「平成16年度版環境白書」（平成17年：長野県）によると、長野県では「自動車騒音面的評価システム」を整備して環境基準の達成状況を評価しています。平成15年度の環境基準の達成状況は、昼夜とも環境基準以下であった割合が全県の85.3%となっています。

調査区域では、騒音測定は行われていません。

## ( 3 ) 振動

「平成16年版環境白書」（平成17年：長野県）によると、調査区域では、振動の調査は行われていません。

## ( 4 ) 低周波音

「平成16年版環境白書」（平成17年：長野県）によると、調査区域では、低周波音の調査は行われていません。

## ( 5 ) 悪臭

「平成16年版環境白書」（平成17年：長野県）によると、調査区域内では、悪臭の測定は行われていません。

## ( 6 ) 水質

長野県では水質に係る環境基準の達成状況を把握する等の目的で、水質の常時監視が行われています。

調査区域内では水質測定は行われていませんが、図 2.2.2 1 に示す折立橋（遠山川）において水質測定が行われています。

測定結果表 2.2.2 3 に示します。

平成15年度については大腸菌群数を除いて環境基準を達成しています。

表 2.2.2 3 折立橋（遠山川）の水質測定結果（平成16年度）

測定項目	H16
p H	7.1~8.0
DO(mg/l )	11
BOD(mg/l )	0.5
BOD75%値(mg/l )	<0.5
S S(mg/l )	22
大腸菌群数(MPN/100ml )	$3.9 \times 10^2$

出典：平成16年度水質測定結果（平成17年：長野県生活環境部調べ）

### ( 7 ) 地下水の水質

長野県では、毎年任意に選んだ井戸について地下水の水質測定が行われ、また、既に汚染の判明している地点については継続的な地下水質の調査を実施しています。

調査区域には、地下水質の継続調査が行われている井戸はありません。

### ( 8 ) 土壌汚染

「平成16年版環境白書」（平成17年：長野県）によると、調査対象地域には過去に土壌汚染が問題化したような土地、施設はありません。

「公害紛争処理法に基づく公害苦情調査（長野県公害課まとめ）」によると、調査対象地域には土壌汚染に対する苦情がなく、土壌汚染が問題化するような鉱山等の跡地等、自然起因の重金属汚染の発生源はありません。

なお、聞き取り調査において青崩峠付近に鉱山跡地があるとの情報を得ましたが、鉱体の位置は実施区域の対岸であり、実施区域は鉱山跡地の鉱体を通過しません（図2.2.6を参照）。

### ( 9 ) 地盤沈下

「平成16年版環境白書」（平成17年：長野県）によると、長野県内では諏訪湖周辺で地盤沈下現象による被害が発生し、調査を行っていますが、それ以外の地域での調査は行っておらず、また、被害等の発生もありません。